

主婦のアルバイト調査（2020年）



調査概要

調査対象

アルバイトとして働く主婦について実態面と意識面から明らかにすること。

調査期間

2020年3月31日（火） 2020年4月2日（木）

調査方法

外部パネルによるWEBアンケート調査

有効回答数

1,600名

調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。
株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ部 アルバイトリサーチチーム E mail : myArm@mynavi.jp

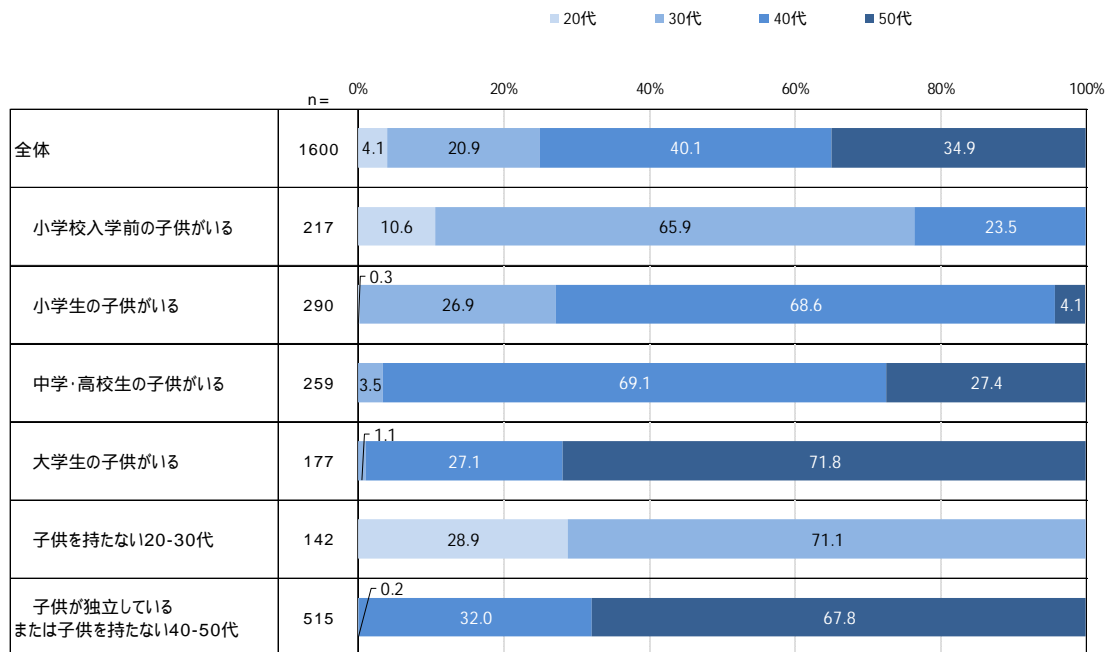
INDEX

- (1) 回答者プロフィール
 - 年代 / 未子年齢 / 居住地 / 子供人数 / 世帯構成 / 平均月収
- (2) 就業実態
 - 就業状況 / 職種 / 以前の雇用形態 / 勤務期間 / 勤務日数 / 勤務曜日 / 勤務期間 / 通勤時間
- (3) アルバイト探しに関する意識
 - アルバイト探しに関する意識探しの重視条件 / 入社の決め手 / アルバイト開始時の不安事項
- (4) 就業意向と非就業意向
 - 就業意向 / 非就業意向
- (5) 現在のアルバイトへの意識
 - アルバイトする目的 / 継続意向 / 満足度 / 前向きさ / 推奨度 / 勤務先の実情 / やりがい / 勤務先での悩み / 理想の上司像
- (6) 今後希望する雇用形態
 - 希望する雇用形態 / 正社員希望理由 / 非正規社員希望理由
- (7) 早期離職の実態と意識
 - 離職経験 / 早期離職理由
- (8) 就業調整の実態と意識
 - 就業調整 / 就業調整理由

(1) 回答者プロフィール

年代（単一回答）

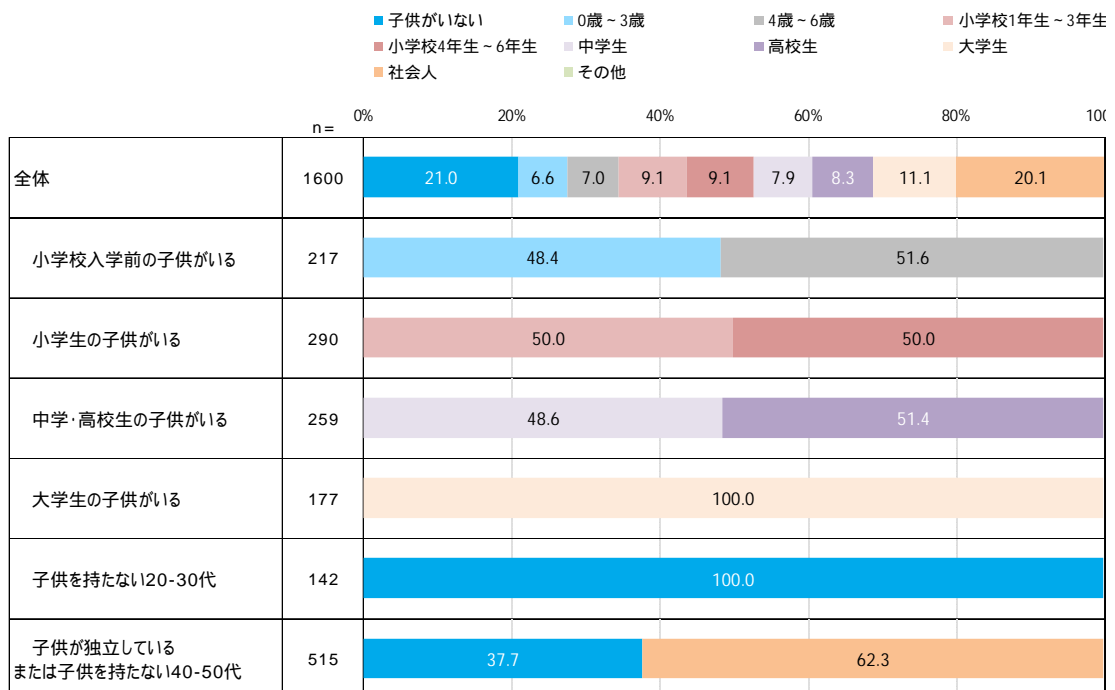
- ・【 小学校入学前の子供がいる】層で「30代」が6割台半ばで最も多く、【 小・中・高校生の子供がいる】層で「40代」が7割弱で最も多い。
- ・【 大学生の子供がいる】層で「50代」が7割強で最も多い。



末子年齢

【末子の年齢・所属としてあてはまるもの（単一回答）】

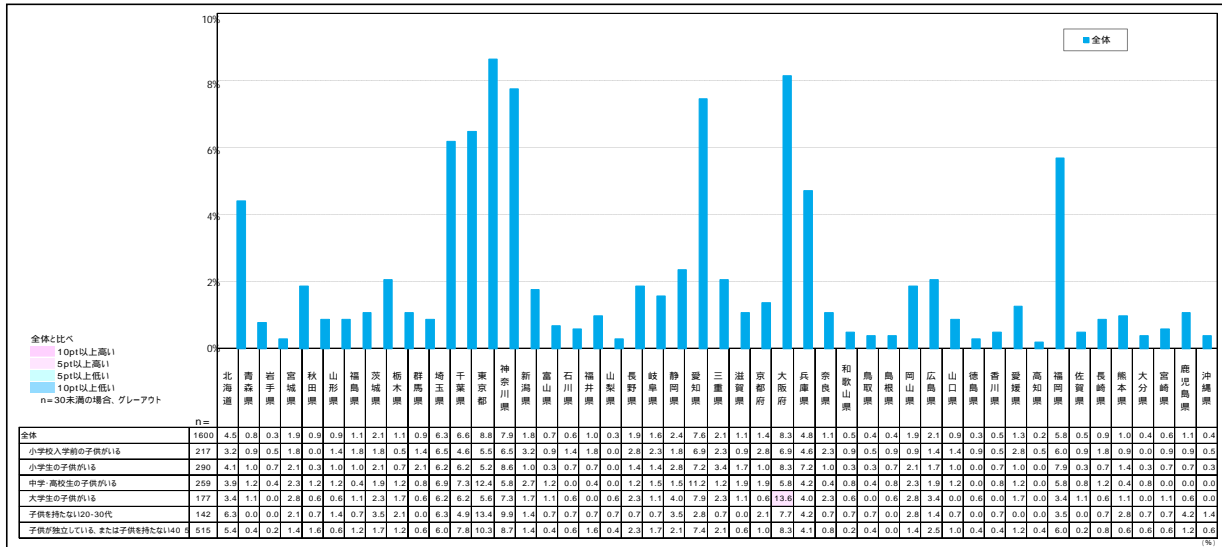
- ・全体では「子供がいない」が、21.0%で最も高く、次いで「社会人」が20.1%の順。
- ・子供がいる割合は全体の8割程度。
- ・子供の年齢は【 小学生の子供がいる】層で「小学校低学年」と「小学校高学年」の割合が半々、【 中学・高校生の子供がいる】層で「中学生」と「高校生」が約半々。



居住地

【居住地（単一回答）】

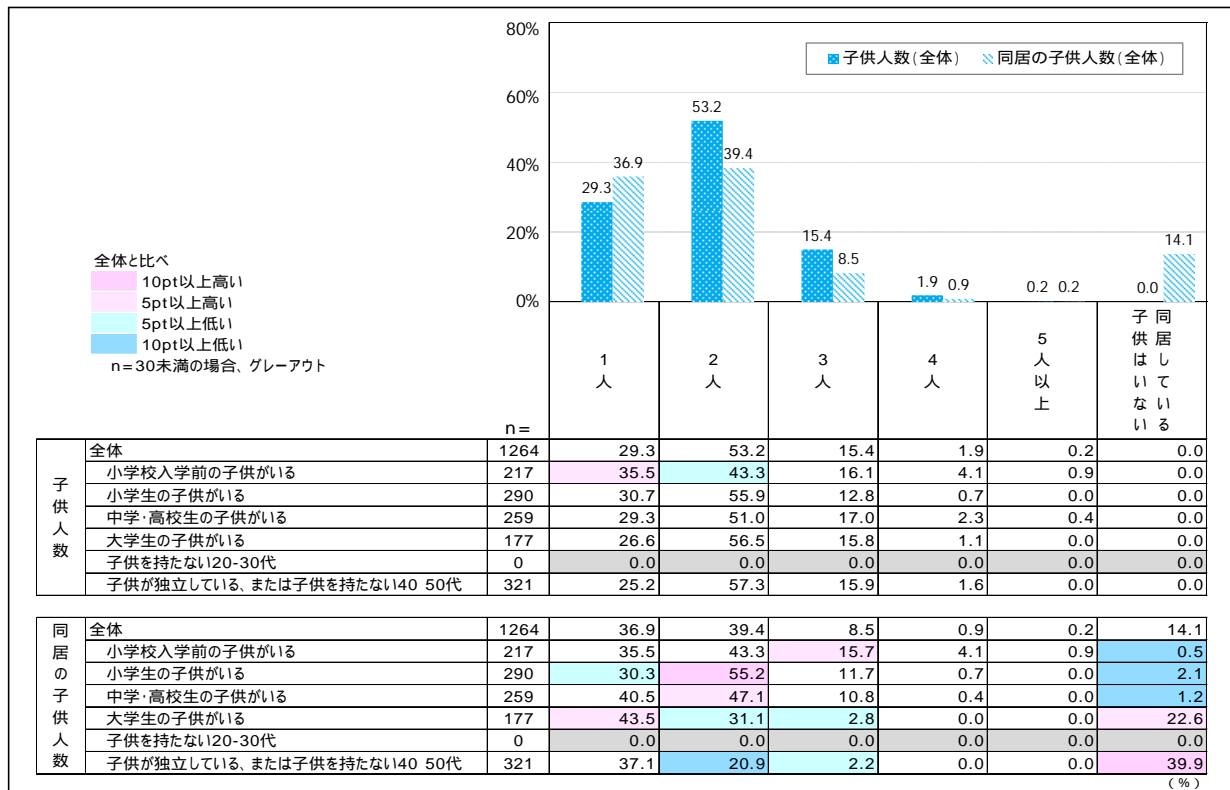
- ・全体とみると、北海道、1都3県、愛知県、関西圏、福岡県の居住者が多い。
- ・都道府県別では、東京都が最も多く、次いで大阪府、神奈川県順。
- ・〔大学生の子供がいる〕層で、大阪府の比率がやや高め。



子供・同居の子供人数

【子供の人数/同居の子供の人数（単一回答）】

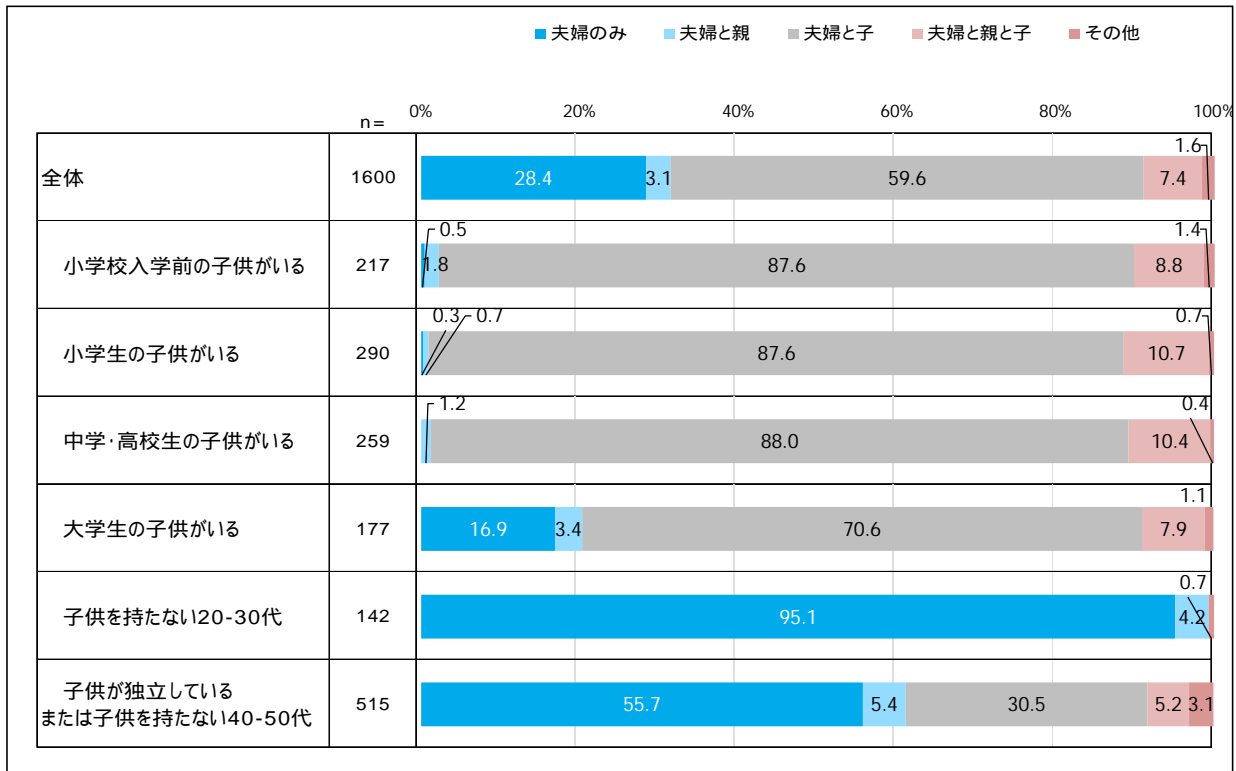
- ・全体とみると、子供の人数・同居の子供の人数は共に「2人」が最も多く、次いで「1人」の順。
- ・子供の人数は、〔小学生の入学前の子供がいる〕層で「1人」がやや高く「2人」がやや低い。
- ・同居の子供の人数は、〔小学生の子供がいる〕層で「2人」が高い。



世帯構成

【世帯を共にしている人（単一回答）】

- ・高校生以下の子供がいる【 】層では「夫婦と子」が9割弱を占める。
- ・【 大学生の子供がいる】層で「夫婦のみ」が2割弱で、他の子供がいる層に比べて高い。
- ・高校生以下の子供がいる【 】層では「夫婦と親と子」が1割程度。

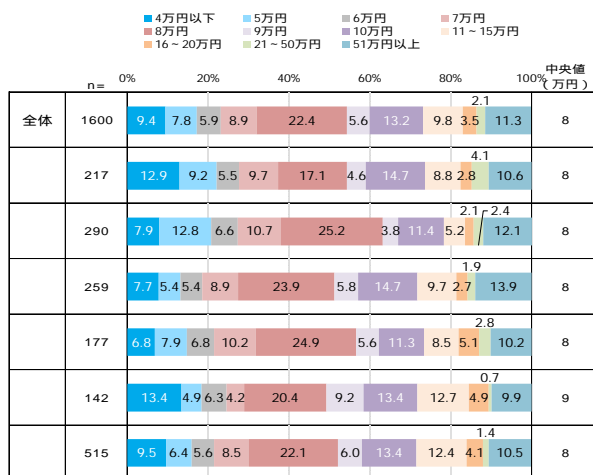


平均月収

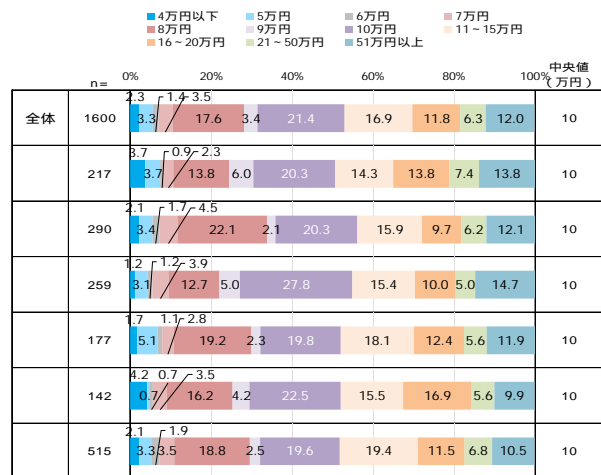
【あなたの1か月あたりの平均収入・希望する1か月あたりの収入（単一回答）】

- ・全体でみると現在の平均月収は中央値で「8万円」。最も高いのは【 子供を持たない20-30代】層で「9万円」。
- ・希望する平均月収の中央値は「10万円」で、現在の平均月収プラス2万円というレベル感。各カテゴリー層では中央値に差はない。

【現在の平均月収】



【希望する月収】



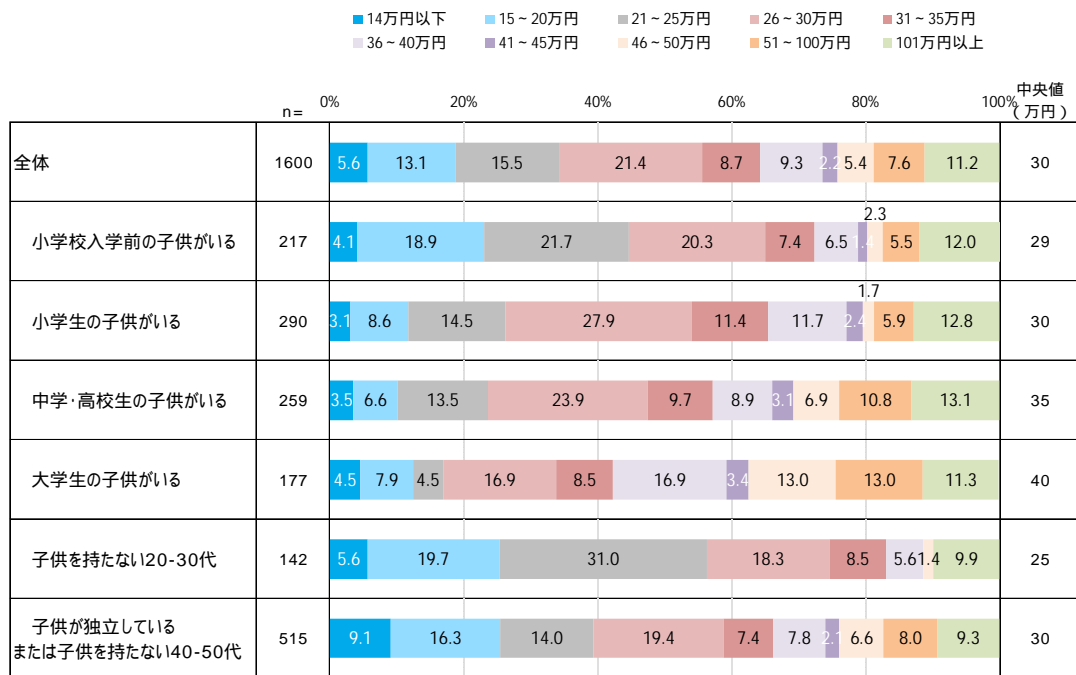
平均月収

【配偶者の1カ月あたりの平均収入（数値回答）】

・全体で見ると配偶者の平均月収の中央値は30万円。

・最も中央値が高いのは【 大学生の子供がいる】層で40万円と、全体に比べ10万円高い。

・最も中央値が低いのは【 子供を持たない20-30代】層で25万円。最も高い【 大学生の子供がいる】とは15万円の差がある。

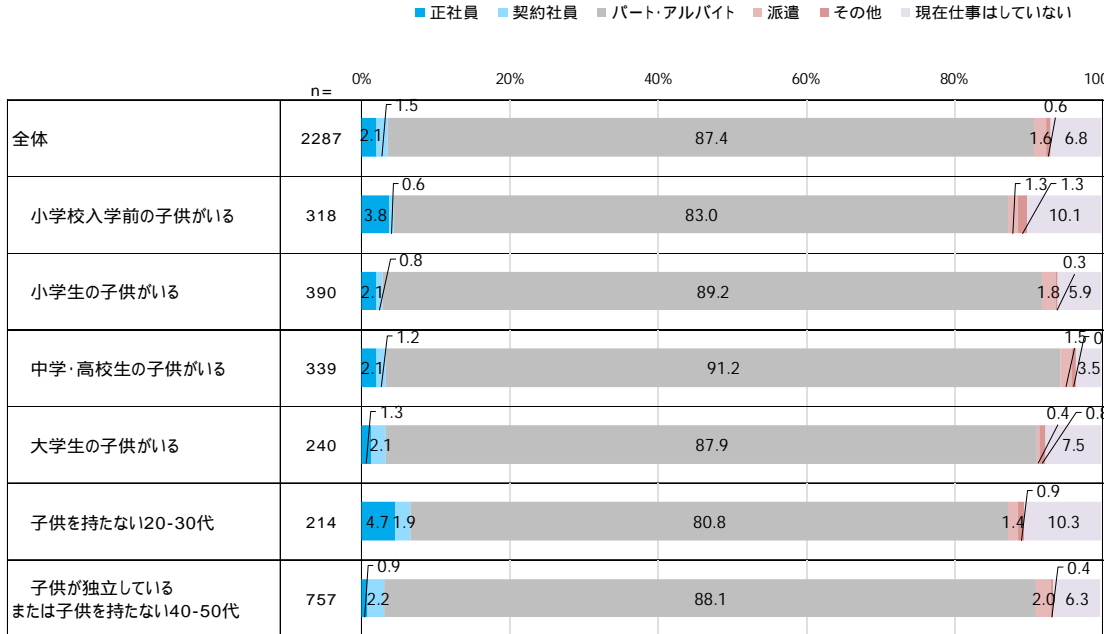


(2) 就業実態

雇用形態

【現在の就業状況（単一回答）】

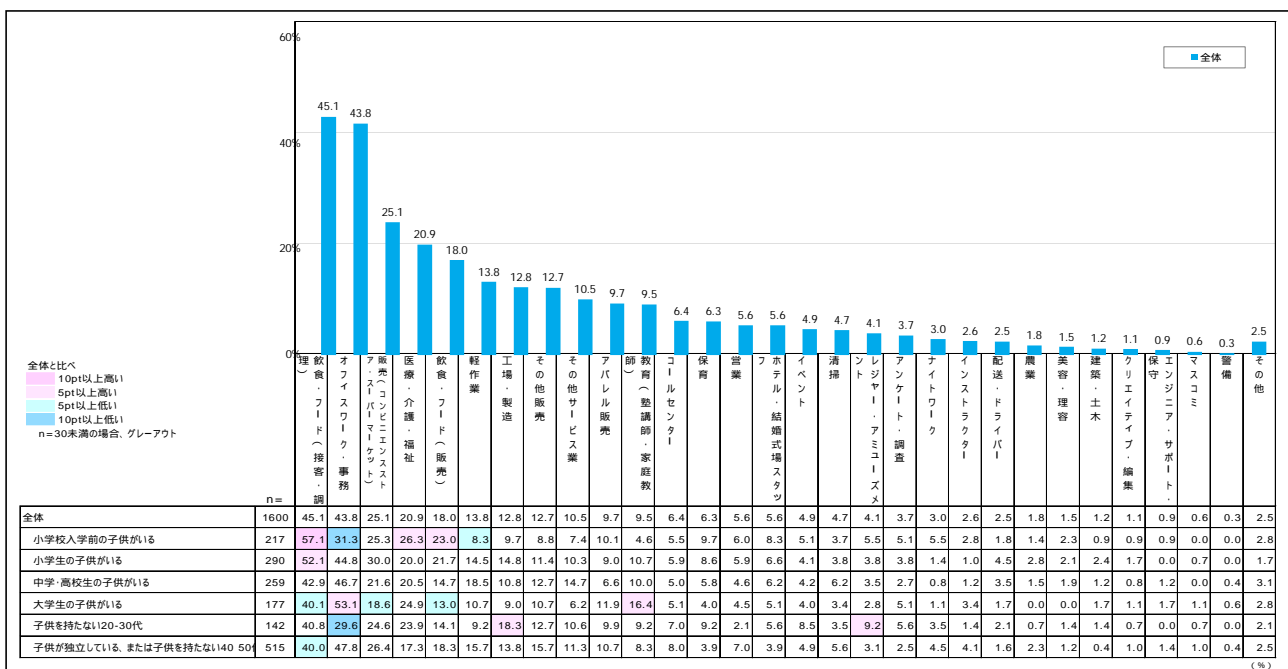
- ・全体でみると、「パート・アルバイト」が9割弱。
- ・【 中学・高校生の子供がいる】層で、「パート・アルバイト」が9割を超える。



職種（今まで経験のある）

【今までに経験したことのあるアルバイト（複数回答）】

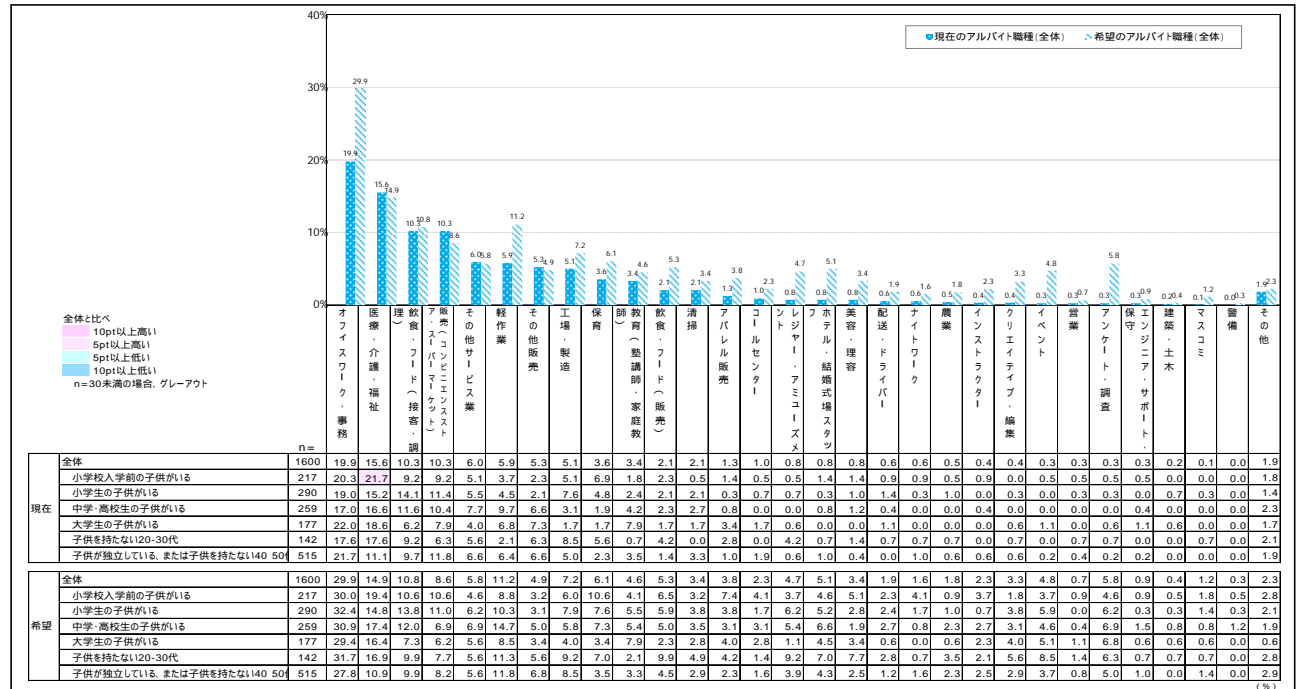
- ・全体でみると、「飲食・フード（接客・調理）」「オフィスワーク・事務」が圧倒的に高く、次いで「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」「医療・介護・福祉」「飲食・フード（販売）」などが上位にあがる。
- ・「飲食・フード（接客・調理）」は【 小学校入学前の子供がいる】層で高い。
- ・「オフィスワーク・事務」は【 小学校入学前の子供がいる / 子供を 子供を持たない20-30代】層で低い。



職種（現在・希望）

【現在のアルバイト職種（単一回答）／希望するアルバイト職種（複数回答）】

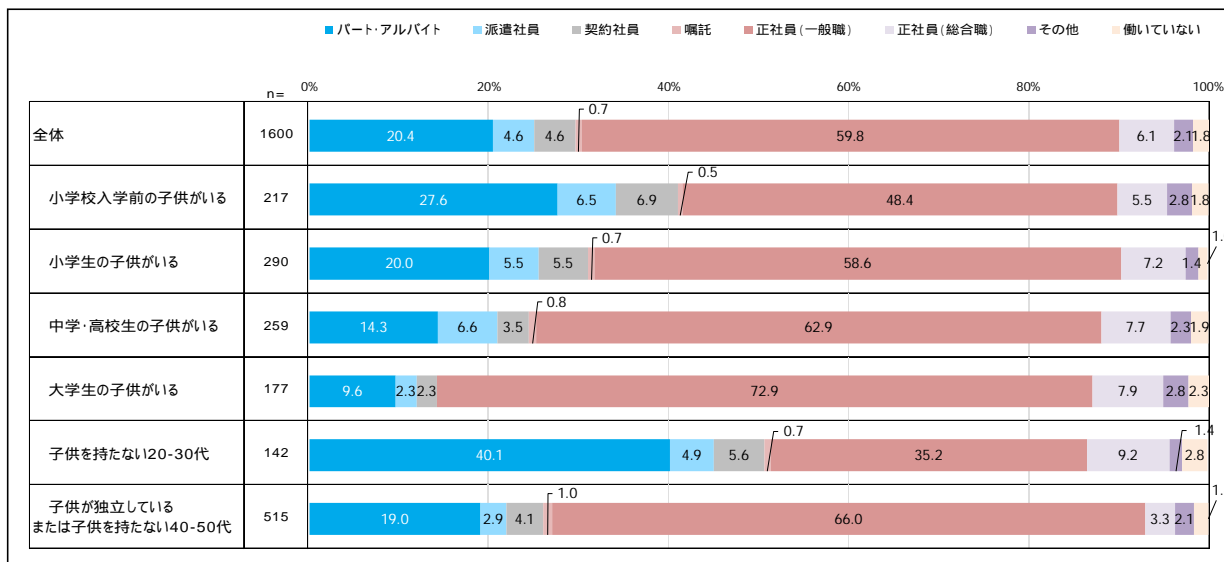
- ・全体で現在の職種をみると、「オフィスワーク・事務」が高く、そのほか「医療・介護・福祉」「飲食・フード（接客・調理）」「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」などが上位にあがる。
- ・全体で希望の職種をみると、「オフィスワーク・事務」が特に高く、次いで「医療・介護・福祉」「軽作業」「飲食・フード（接客・調理）」などが上位に上がり、現在の職種と同じ傾向にある。



雇用形態（結婚前）

【結婚前（単一回答）】

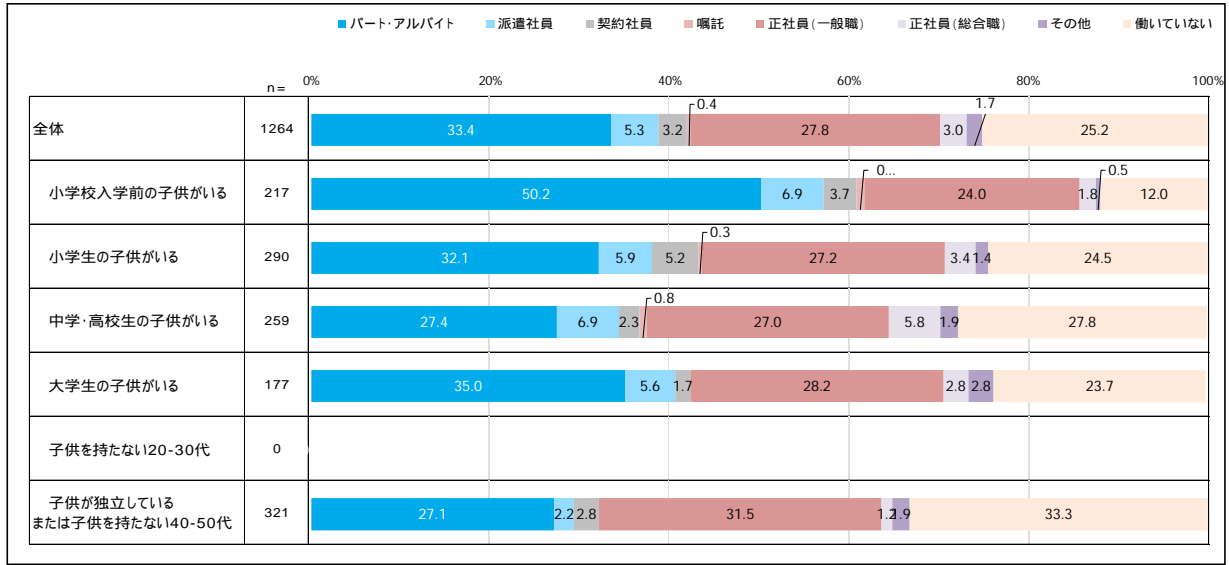
- ・全体では、結婚前は「正社員（一般職）」が約6割で最も高く、次いで「パート・アルバイト」が約2割で高い。
- ・【 大学生の子供がいる】層で、「正社員（一般職）」が7割強で最も高い。
- ・【 子供を持たない20-30代】層で「パート・アルバイト」が約4割で最も高い。



雇用形態（出産前）

【お子様が生まれる前（単一回答）】

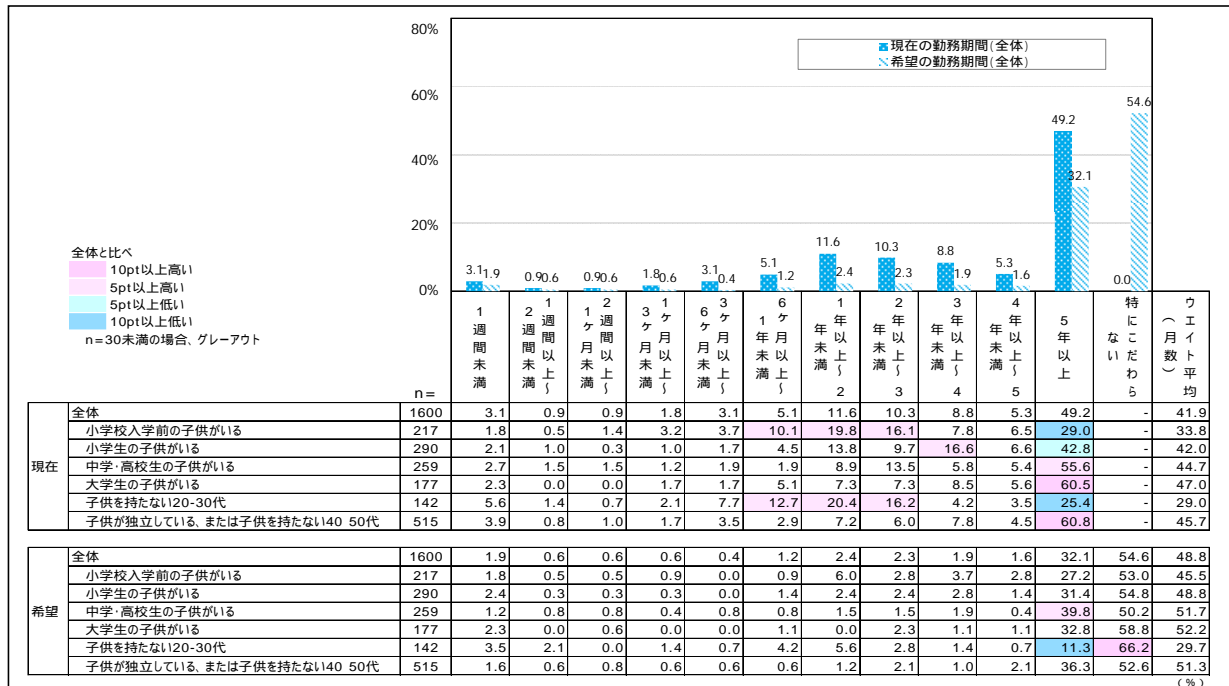
- ・全体では、出産前は「パート・アルバイト」が3割強で最も高く、次いで「正社員（一般職）」、「働いていない」の順。
- ・【 小学校入学前の子供がいる】層で「パート・アルバイト」が約5割で最も高い。
- ・【 子供が独立している】層で「正社員（一般職）」が3割強で最も高い。



勤務期間（現在・希望）

【現在のアルバイト先における勤務期間 / 希望の勤務期間（単一回答）】

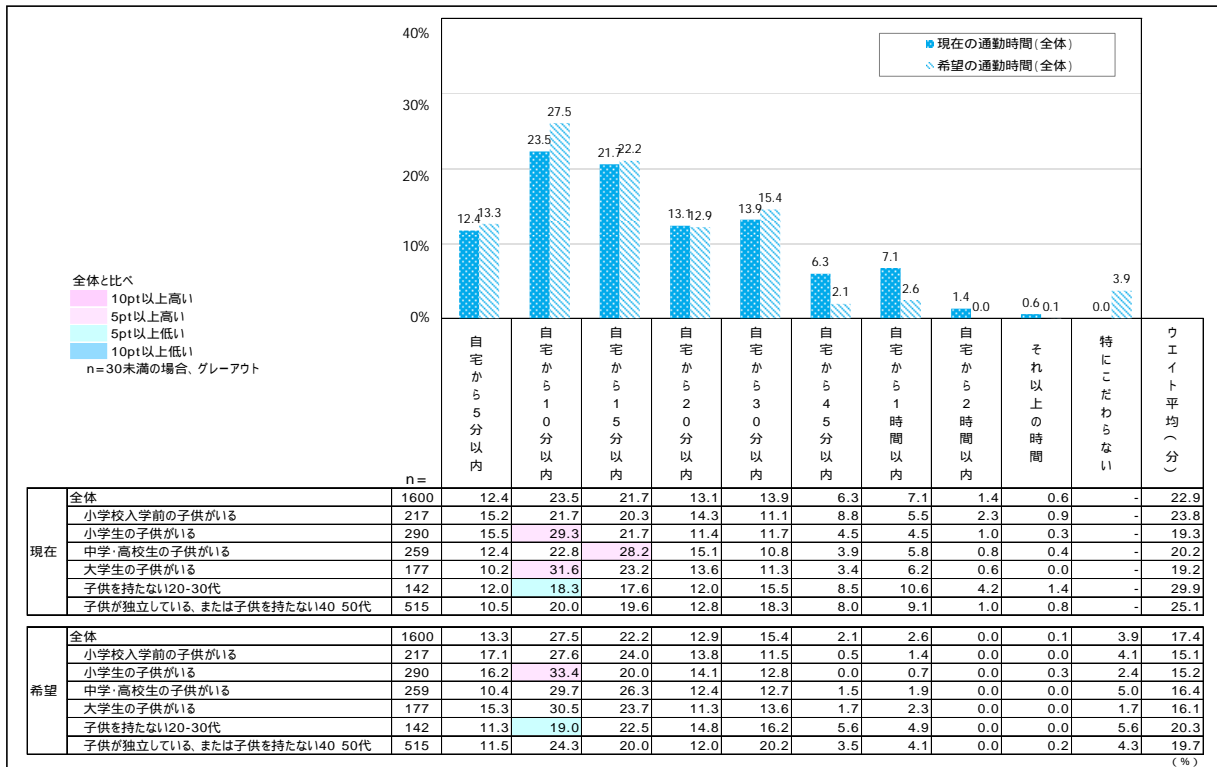
- ・全体でみると、現在の平均アルバイト期間は41.9ヶ月、希望の平均アルバイト期間は48.8ヶ月。
- ・現在の期間では、【 大学生の子供がいる】層が最も長く47.0ヶ月、次いで【 子供が独立している、または子供を持たない40-50代】層が45.7ヶ月。
- ・希望の期間では、【 大学生の子供がいる】層が最も長く52.2ヶ月、次いで【 中学・高校生の子供がいる】層が51.7ヶ月。



1週間の勤務日数（現在・希望）

【1週間あたりのアルバイト日数 / 希望の1週間あたりのアルバイト日数（単一回答）】

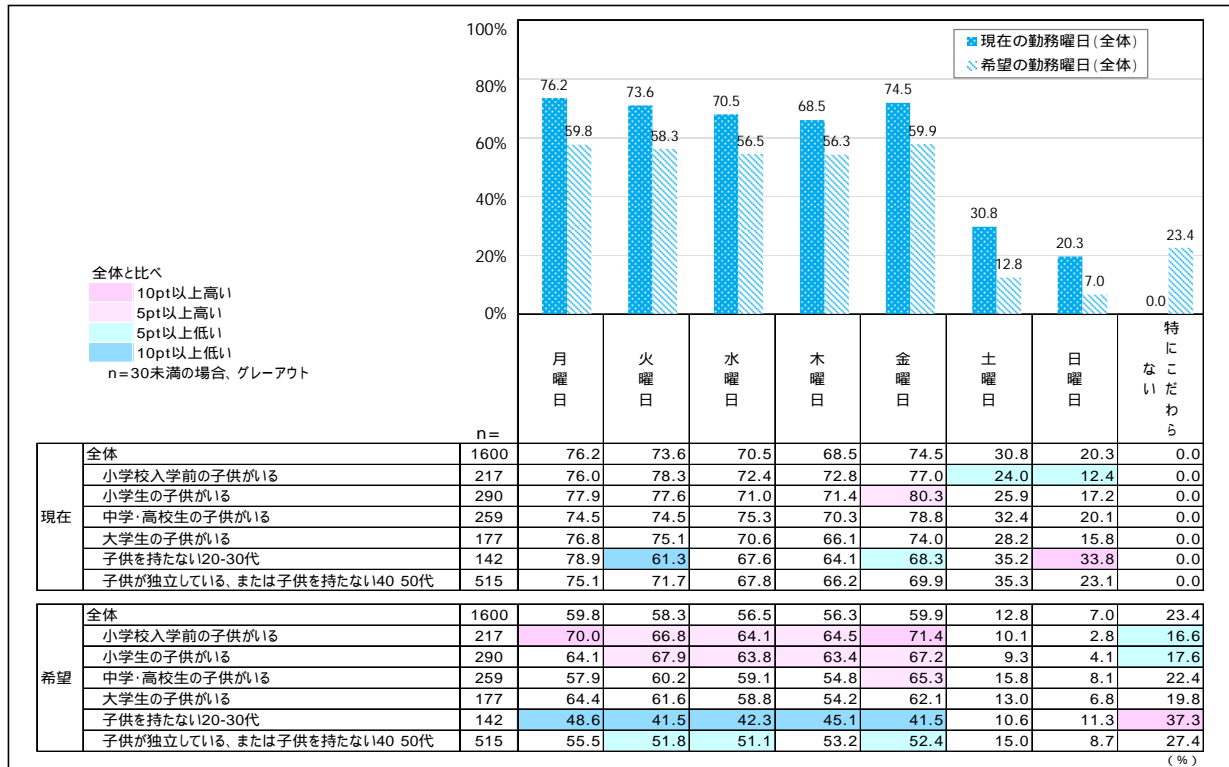
- ・全体でみると、1週間の平均アルバイト日数は4.0日、希望のアルバイト日数においても4.0日と、現在と希望に差は見られない。
- ・現在のアルバイト日数では、【 中学・高校生の子供がいる】層が4.2日でやや多く、【 子供を持たない20-30代】層が3.8日でやや少ない。
- ・希望のアルバイト日数では、【 中学・高校生の子供がいる】層が4.2日でやや多い。



勤務曜日（現在・希望）

【現在の勤務曜日 / 希望の勤務曜日（複数回答）】

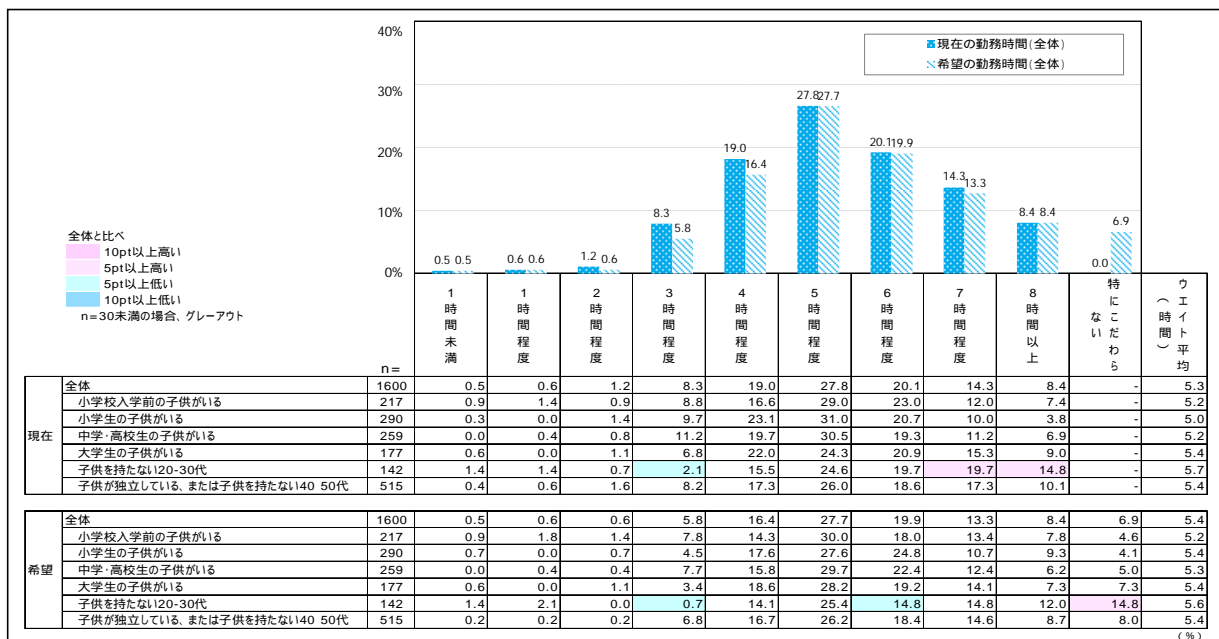
- 全体でみると、現在の勤務曜日は「平日」が7割前後で多く、次いで「土曜日」が約3割、「日曜日」が約2割の順。
現在について、【 小学校入学前の子供がいる】層で「土曜日」「日曜日」が比較的少ない。
- 現在について、【 子供を持たない20-30代】層で「火曜日」が少なく、「日曜日」が多い。
- 全体でみると、希望の勤務曜日は「平日」が6割弱で最も多く、次いで「土曜日」が1割強、「日曜日」が1割弱の順。
希望について、【 小学校入学前の子供がいる】層で「月曜日」「金曜日」が多い。
- 希望について、【 子供を持たない20-30代】層で「平日」が4割台で少なく、「特にこだわらない」が4割弱で多い。



1日あたりの勤務時間（現在・希望）

【1日あたりの勤務時間 / 希望の1日あたりの勤務時間（単一回答）】

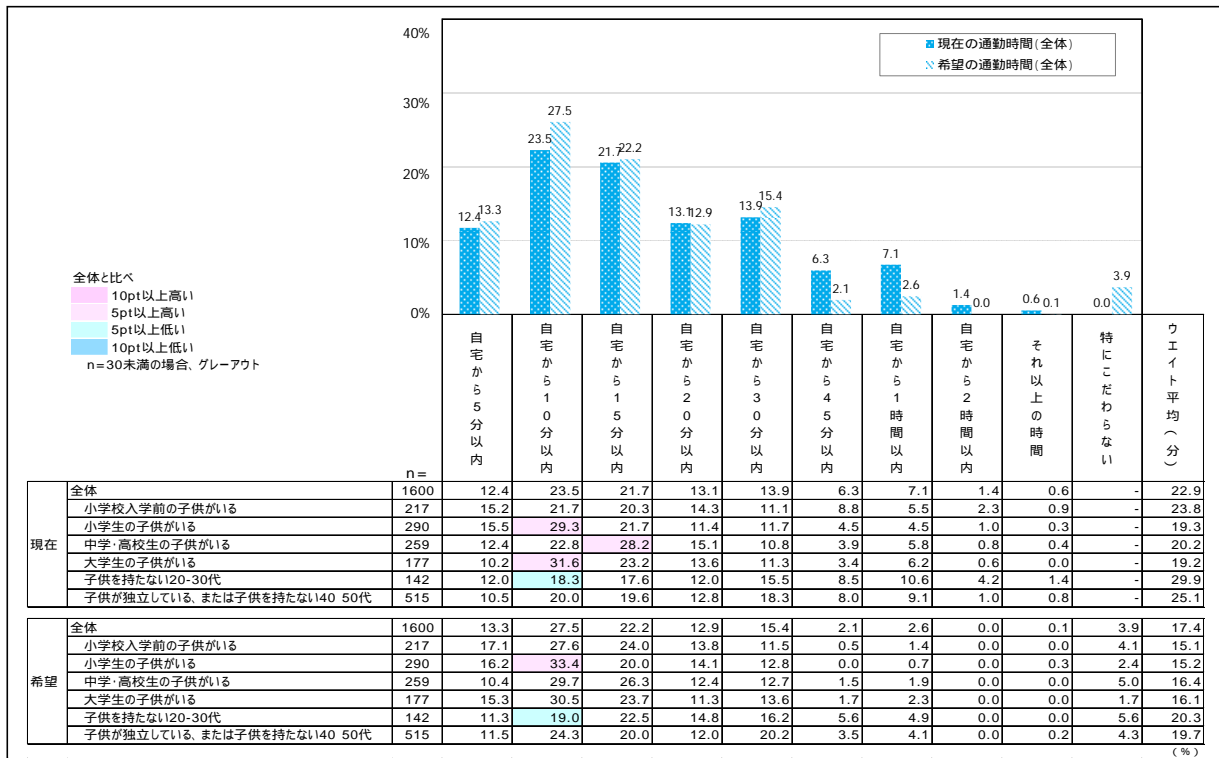
- 全体でみると、1週間の平均アルバイト日数は4.0日、希望のアルバイト日数においても4.0日と、現在と希望に差は見られない。
- 現在のアルバイト日数では、【 中学・高校生の子供がいる】層が4.2日でやや多く、【 子供を持たない20-30代】層が3.8日でやや少ない。
- 希望のアルバイト日数では、【 中学・高校生の子供がいる】層が4.2日でやや多い。



通勤時間（現在・希望）

【自宅からの通勤時間 / 希望する自宅からの通勤時間（単一回答）】

- ・全体でみると、1日あたりの平均勤務時間は5.3時間、希望の勤務時間は5.4時間であまり差は見られない。
- ・現在の勤務時間では、【 子供を持たない20-30代】層が5.7時間で最も長く、【 小学生の子供がいる】層が5.0時間で最も短い。
- ・希望の勤務時間では、【 子供を持たない20-30代】層が5.6時間で最も長く、【 小学校入学前の子供がいる】層が5.2時間で最も短い。

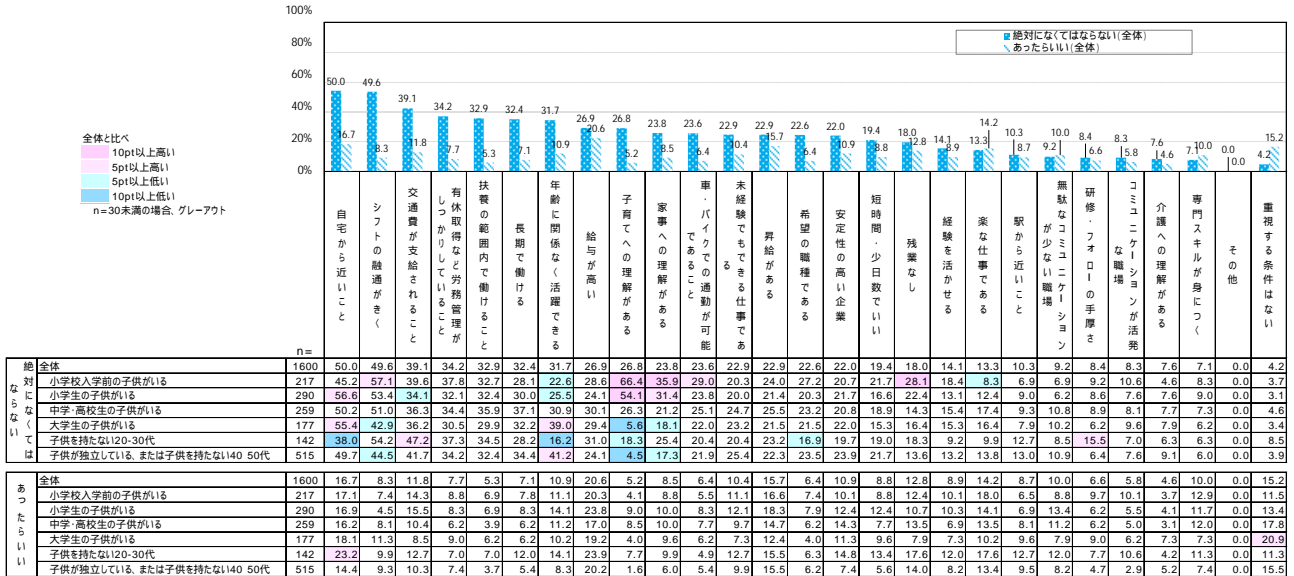


（3）アルバイト探しに関する意識

アルバイト探しでの重視条件

【アルバイトを探す際に、絶対に無くってはならないこと、あったら良いが、必須ではないこと（複数回答）】

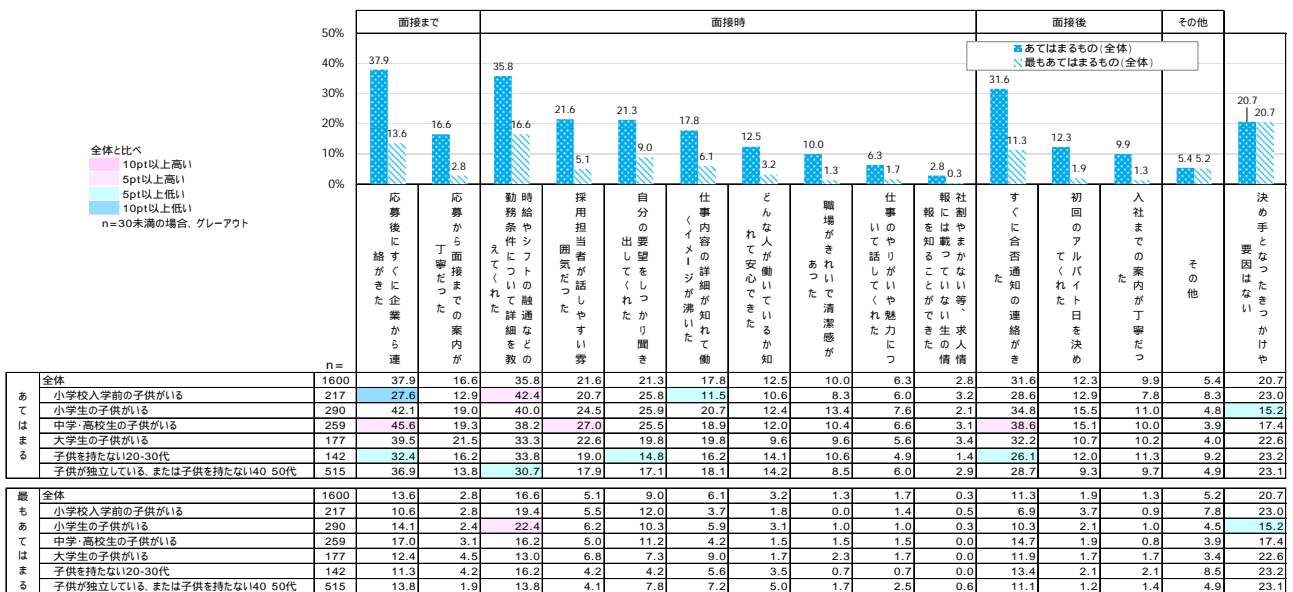
- ・絶対になくってはならないものとして、全体では「自宅から近いこと」「シフトの融通がきく」が約5割となっている。
- ・【小学生入学前の子供がいる】層では「子育てへの理解がある」「家事への理解がある」「残業なし」が高く、【小学生の子供がいる】層では「子育てへの理解がある」が高い。小学生以下の子供がいる場合、子育てとの両立できる環境かどうかが大きなポイントになっている。



入社の決め手

【現在のアルバイトについて、応募してから入社を決めるまでの期間で、入社の決め手となるきっかけや決定打となった要因あてはまるもの（複数回答）/最もあてはまるもの（単一回答）】

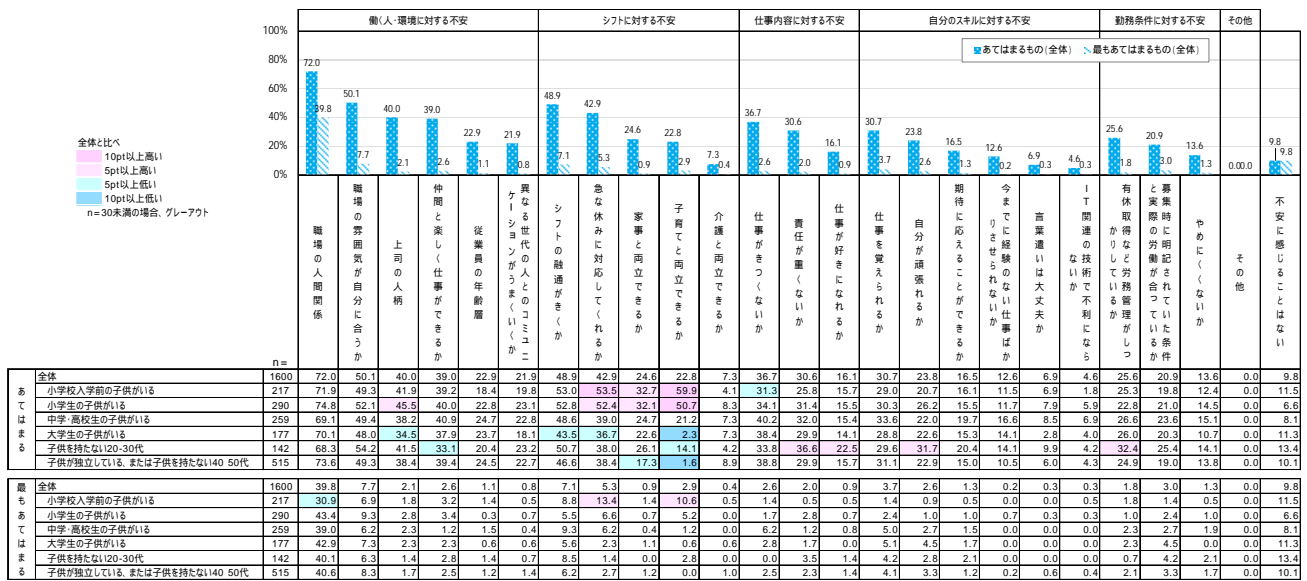
- ・あてはまるものとして、全体では「応募後にすぐに企業から連絡がきた」が最も高く、「時給やシフトの融通などの勤務条件について詳細を教えてください」「すぐに合否通知の連絡がきた」が続く。
- ・一方で、「決め手となったきっかけや要因はない」も2割を占めている。



アルバイトを始める際の不安事項

【新しくアルバイトを始める際に、不安なこととしてあてはまるもの（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）】

- ・あてはまるものとして、全体では「職場の人間関係」が最も高く、「職場の雰囲気が自分に合うか」「シフトの融通がきくか」が続く。
- ・【 小学校入学前の子供がいる】層では「急な休みに対応してくれるか」「子育てと両立できるか」が高く、【 小学生の子供がいる】層では「子育てと両立できるか」が高い。

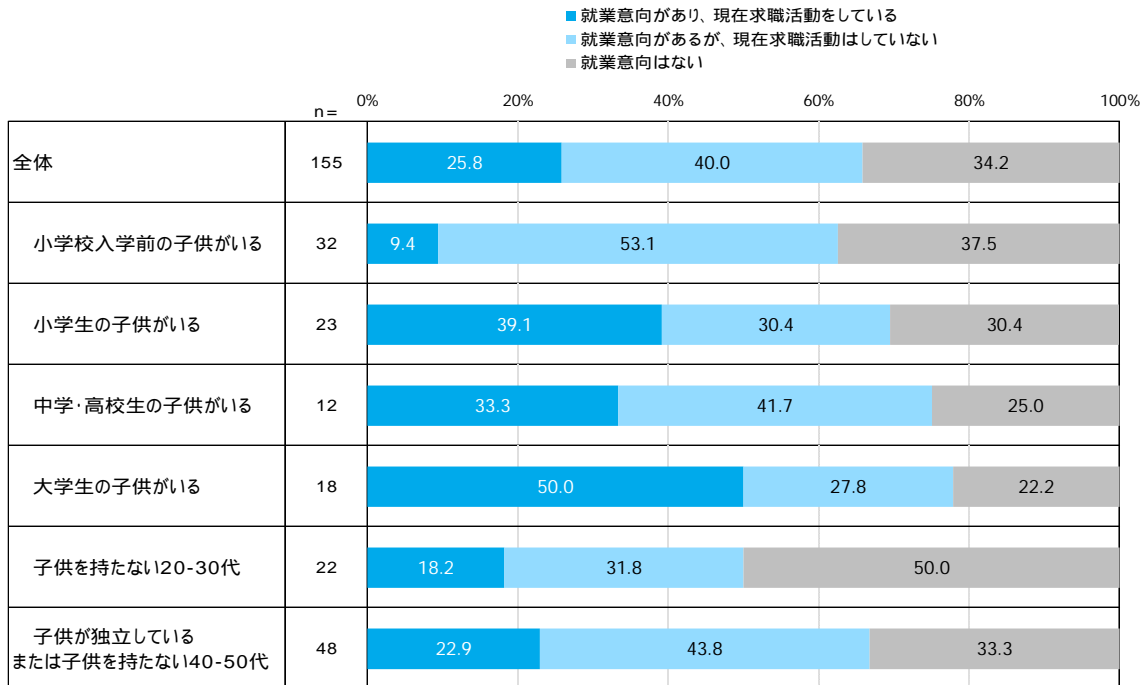


（4）就業意向と離職理由

就業意向

【就業意向の有無と求職活動について最もあてはまるもの（単一回答）】

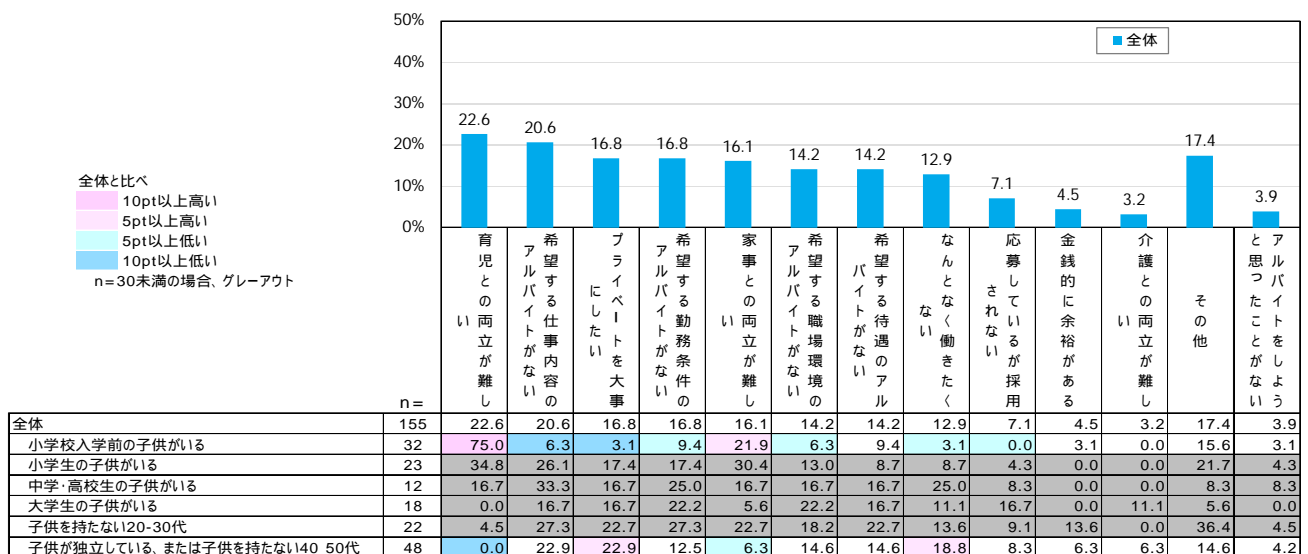
- ・非就業者のうち現在求職活動しているのは全体の3割弱。現在求職活動をしていない人を含めた就業意向層は6割を超えている。
- ・カテゴリー別ではn=30未満の層が多いため比較分析は控える。



非就業理由

【仕事をしていない理由（複数回答）】

- ・非就業理由で最も高い回答は「育児との両立が難しい」で、「希望する仕事内容のアルバイトがない」も同程度の結果。
- ・【小学校入学前の子供がいる】層は「育児との両立が難しい」「家事との両立が難しい」が全体より高く、両立の難しさが就業意欲を妨げている。

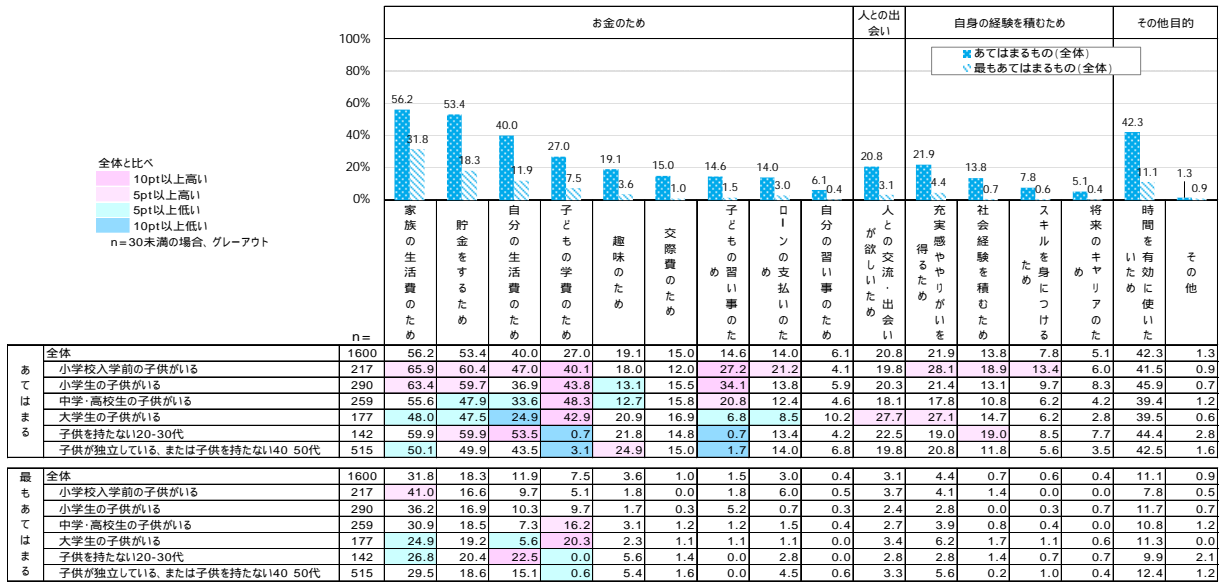


（5）現在のアルバイトへの意識

アルバイトをする目的

【アルバイト・パートをする目的あてはまるもの（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）】

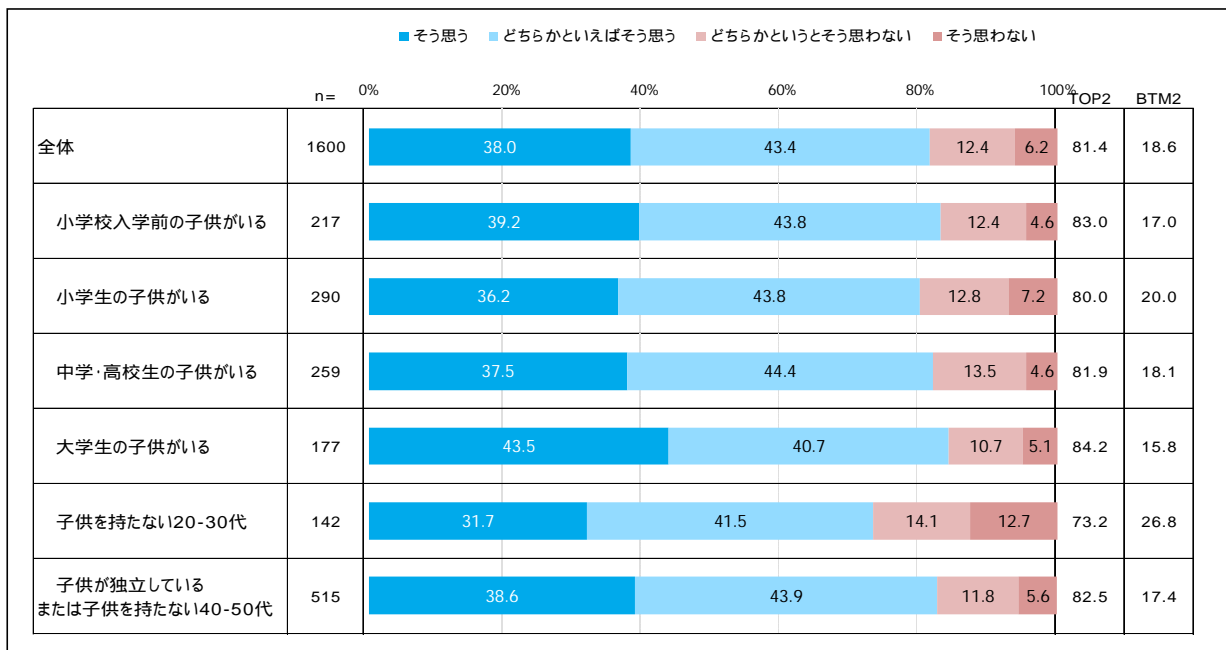
- ・あてはまるものとして、全体では「家族の生活費のため」と「貯金をするため」が5割以上。
- ・「子どもの学費のため」は大学生以下の子供がいる【 】層で高く、「子どもの習い事のため」は小学生以下の子供がいる【 】層で高い。
- ・「自分の生活費のため」は【 子供を持たない20-30代】層で高い。



アルバイトをする目的：継続意向

【現在のアルバイト先で長く働きたいと思えるか（単一回答）】

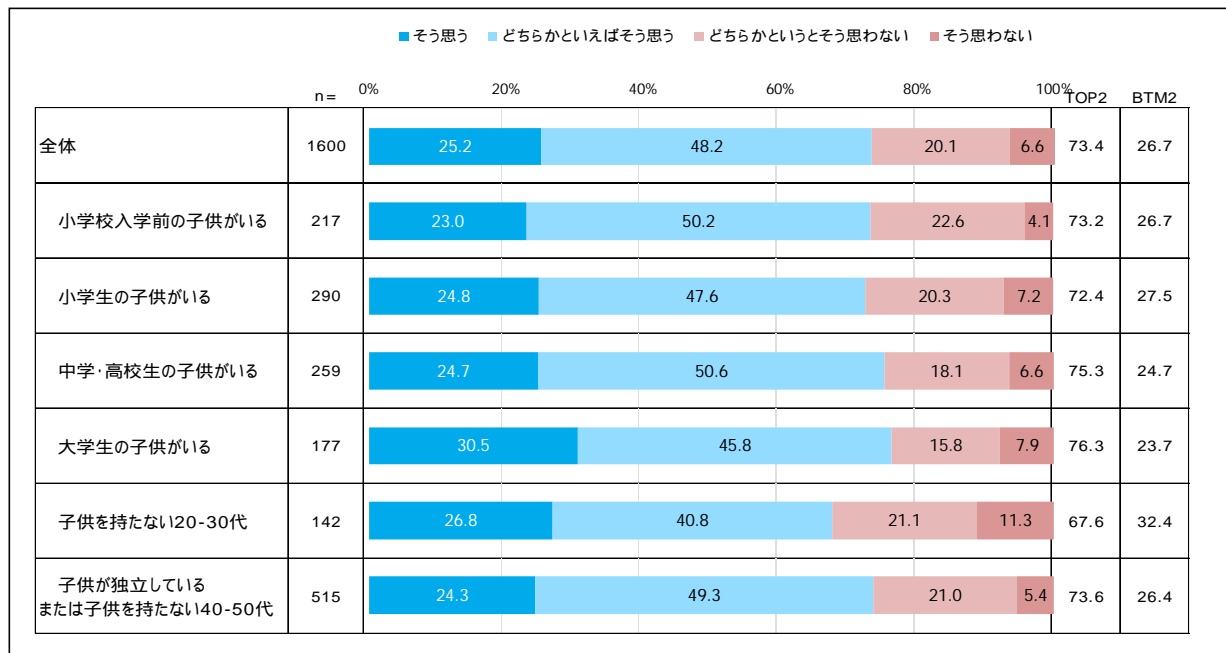
- ・全体で見ると、TOP2は8割強、BTM2は2割弱と、肯定意見が否定意見を大きく上回る。
- ・【 子供を持たない20-30代】層でTOP2がやや低め。



アルバイト先に対する意識：満足度

【現在のアルバイト先で満足しているか（単一回答）】

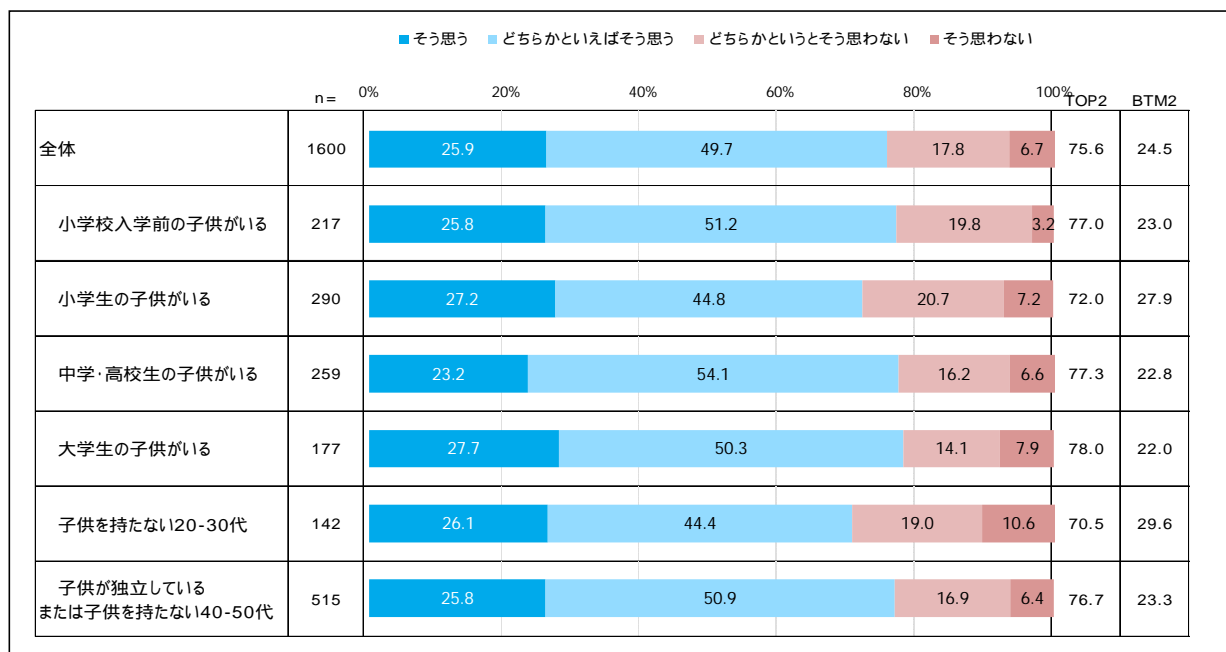
- ・全体でみると、TOP2は7割強、BTM2は3割弱と、肯定意見が否定意見を大きく上回る。
- ・【 子供を持たない20-30代】層でTOP2がやや低め。



アルバイト先に対する意識：前向きさ

【現在のアルバイトに前向きに取り組めるか（単一回答）】

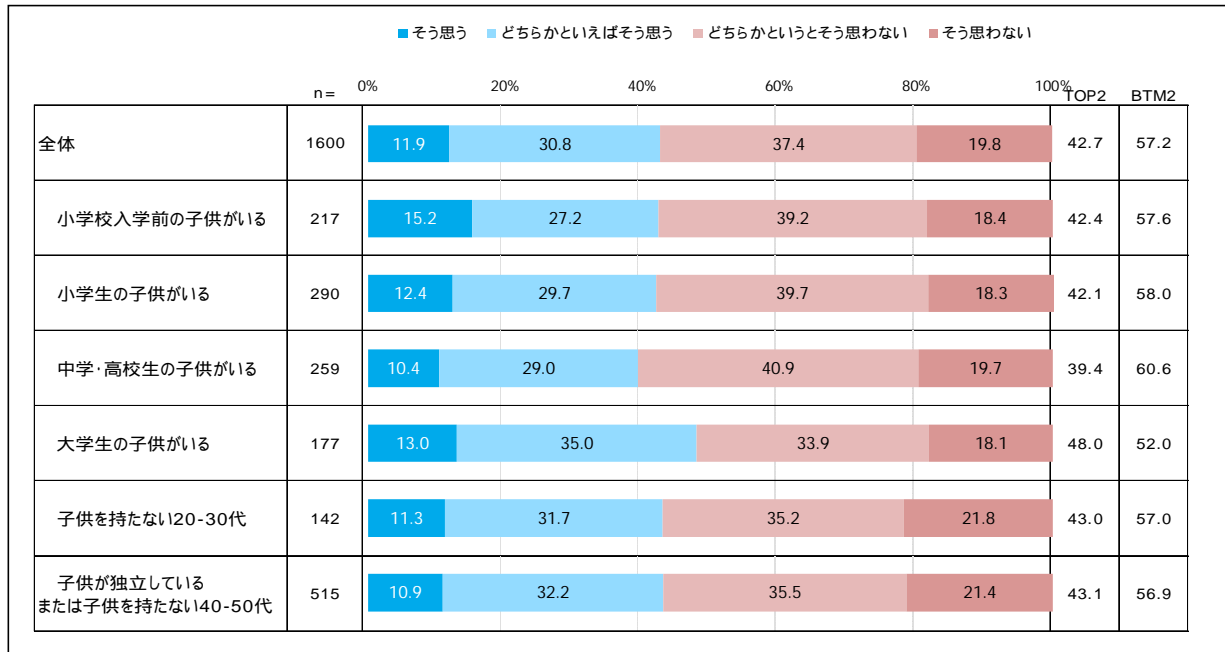
- ・全体でみると、TOP2は8割弱、BTM2は2割台半ばと、肯定意見が否定意見を大きく上回る。



アルバイト先に対する意識：推奨度

【現在のアルバイト先を家族や友人に薦めたいと思えるか（単一回答）】

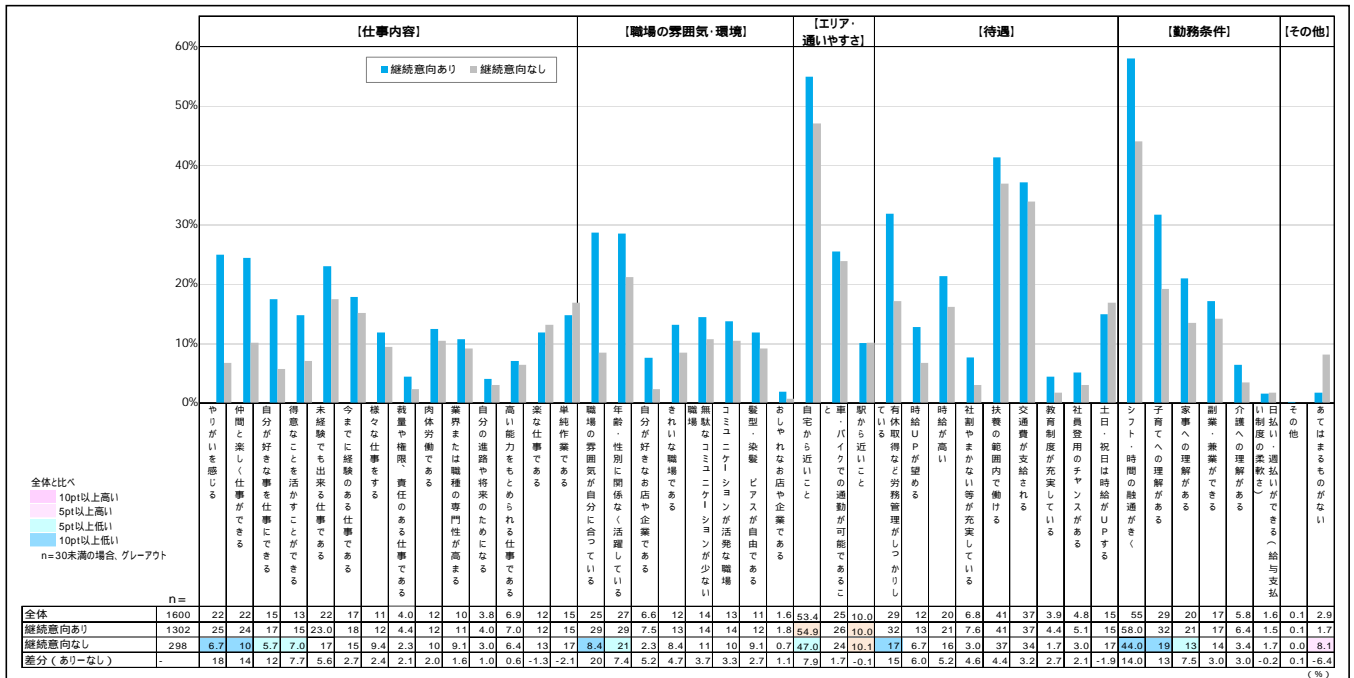
- ・全体でみると、TOP2は4割強、BTM2は6割弱と、否定意見が肯定意見をやや上回る。
- ・【 中学・高校生の子供がいる 】層でBTM2が6割を超えて否定意見がやや高め。



継続意向とアルバイト先の実情

【現在のアルバイト先について当てはまるもの（複数回答）】

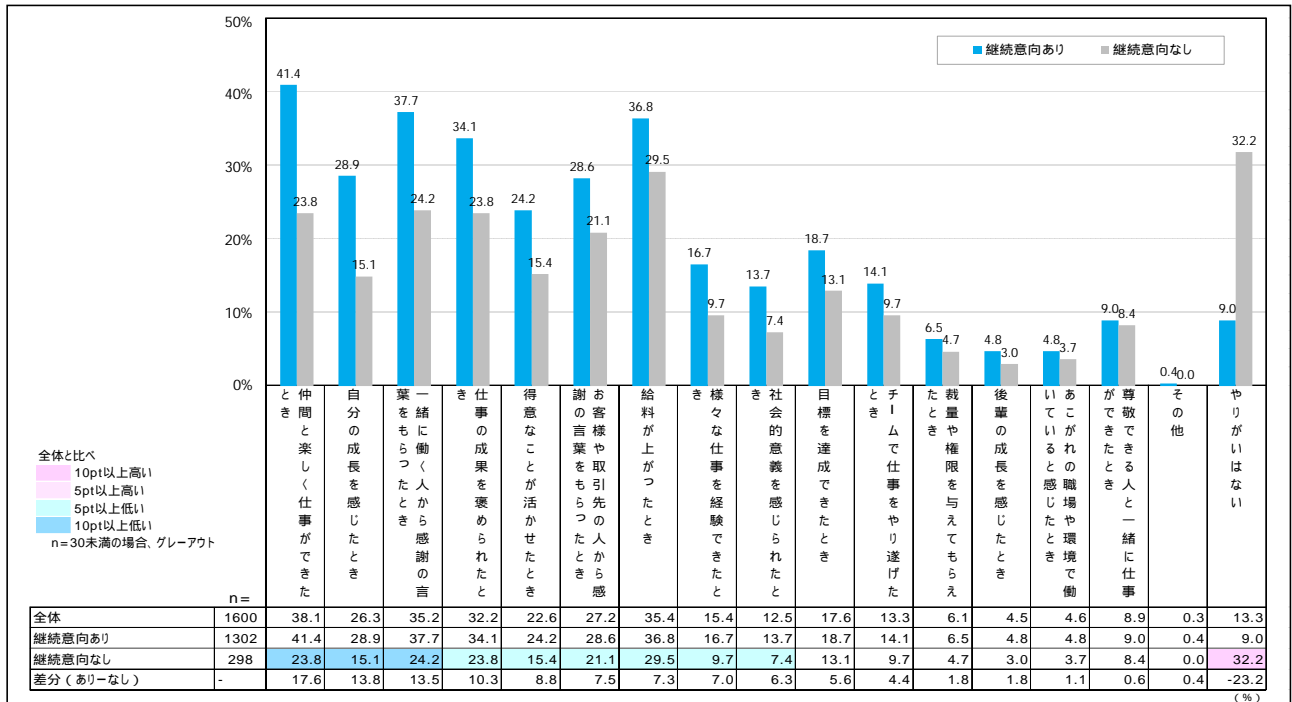
- ・現在のアルバイト先について当てはまるものを現職場への【継続意向あり】層と【継続意向なし】層で比較すると、「職場の雰囲気が自分に合っている」「やりがいを感じる」「有給取得など労務管理がしっかりしている」「仲間と楽しく仕事ができる」「シフト・時間の融通がきく」の項目で差が大きく、【継続意向あり】の方が高いスコアとなっている。



継続意向とやりがい

【現在のアルバイトにやりがいを感じる時（複数回答）】

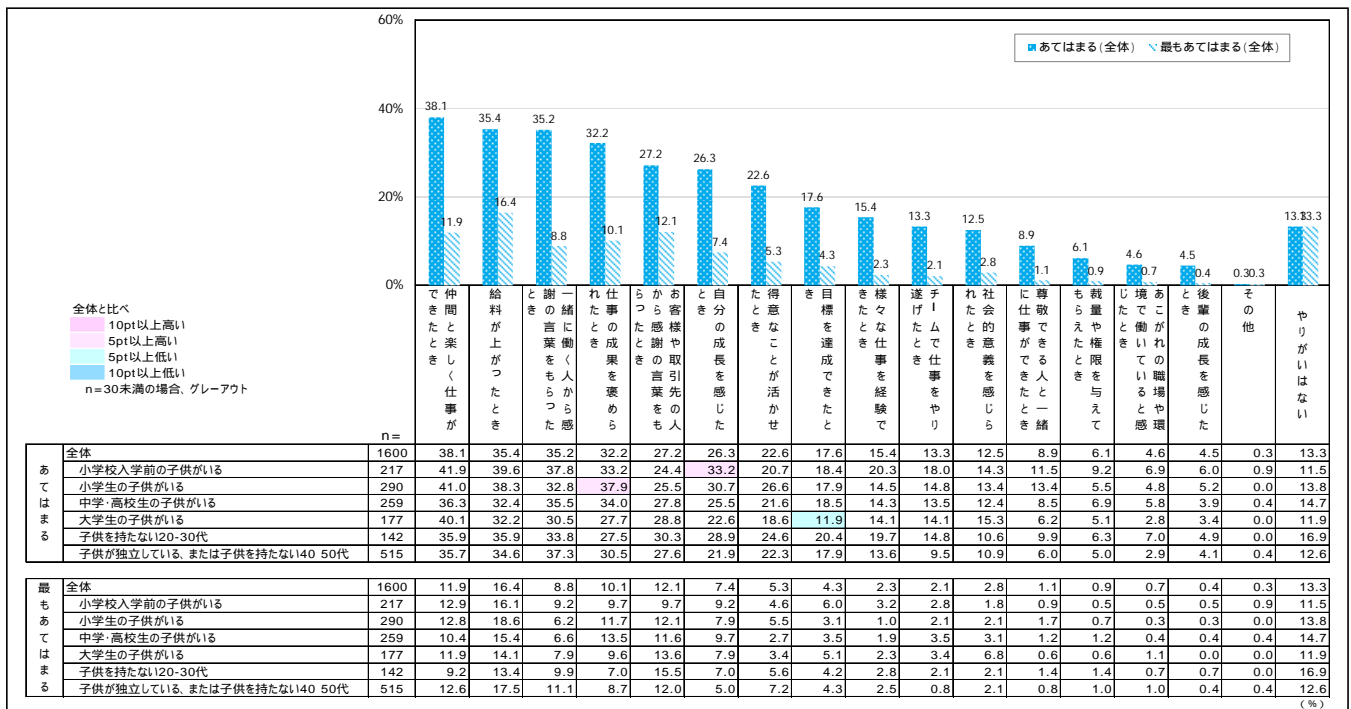
- ・やりがいを感じたときについて、現職場への【継続意向あり】層と【継続意向なし】層で比較すると、【継続意向あり】層の方がやりがいを感じられた場面が多い。
- ・差が大きかったのが「仲間と楽しく仕事ができるとき」「自分の成長を感じたとき」「一緒に働く人から感謝の言葉をもらったとき」。



やりがい

【やりがいを感じたとき（複数回答）/最もやりがいを感じたとき（単一回答）】

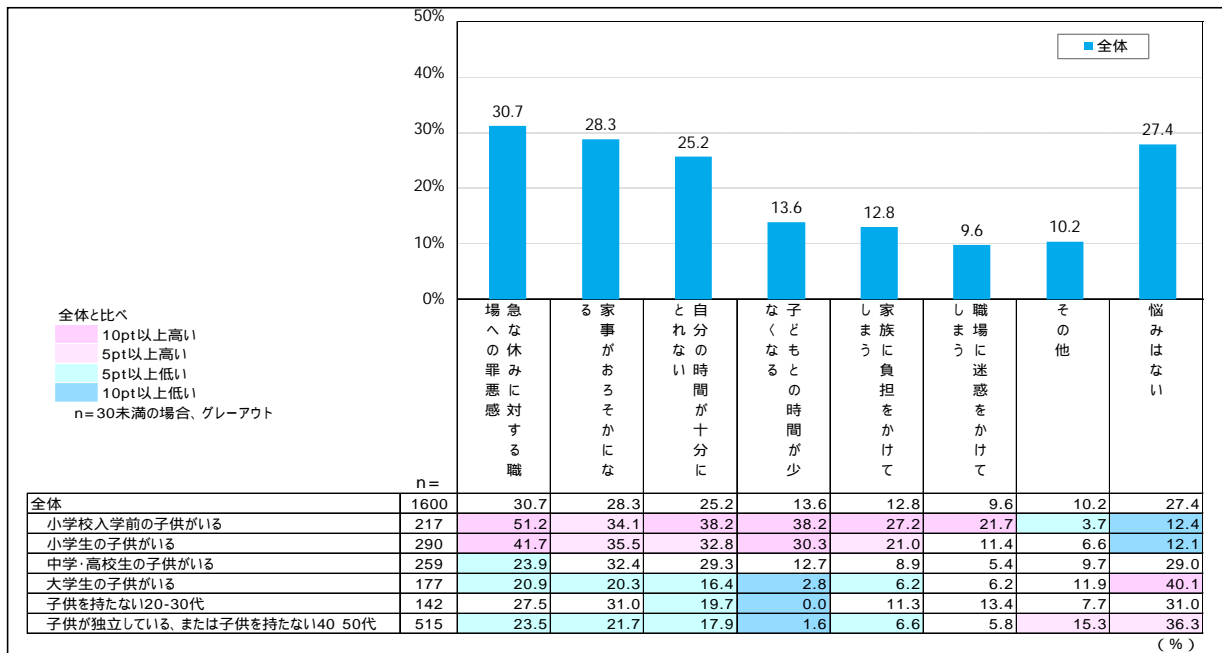
- ・全体でみると、「仲間と楽しく仕事ができるとき」「給料が上がったとき」「一緒に働く人から感謝の言葉をもらったとき」「仕事の成果を褒められたとき」「お客様や取引先の人から感謝の言葉をもらったとき」「自分の成長を感じたとき」などが上位にある。
- ・最もあてはまるは「給料が上がったとき」「お客様や取引先の人から感謝の言葉をもらったとき」「仲間と楽しく仕事ができるとき」が上位。



勤務先での悩み

【仕事をする上で悩んでいること（単一回答）】

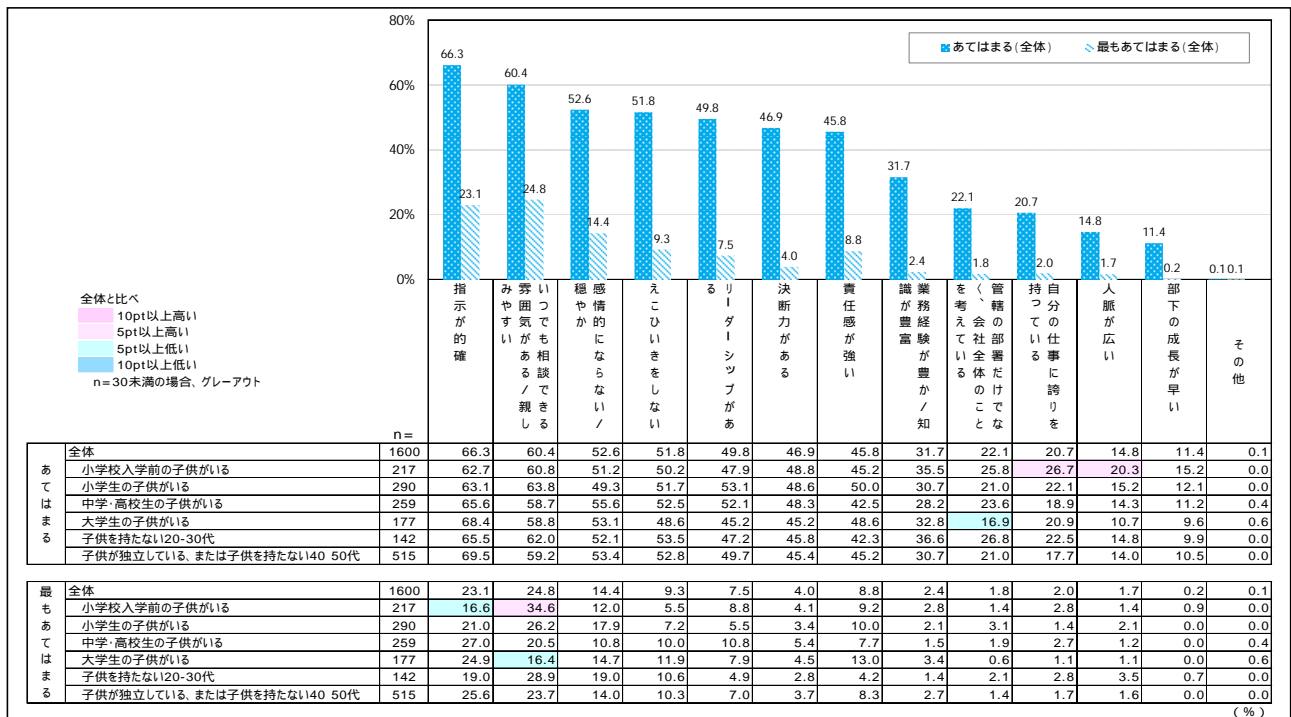
- ・全体でみると、「急な休みに対する職場への罪悪感」「家事がおろそかになる」「自分の時間が十分にとれない」が上位にあがる。
- ・【小学校入学前の子供がいる】層で、いずれの項目も高い。



理想の上司

【理想の上司像（複数回答）／最も理想の上司像（単一回答）】

- ・全体でみると、「指示が的確」「いつでも相談できる雰囲気がある／親しみやすい」「感情的にならない／穏やか」「えこひいきをしない」などが上位にあがる。
- ・最もあてはまるは「いつでも相談できる雰囲気がある／親しみやすい」「指示が的確」「感情的にならない／穏やか」の順。

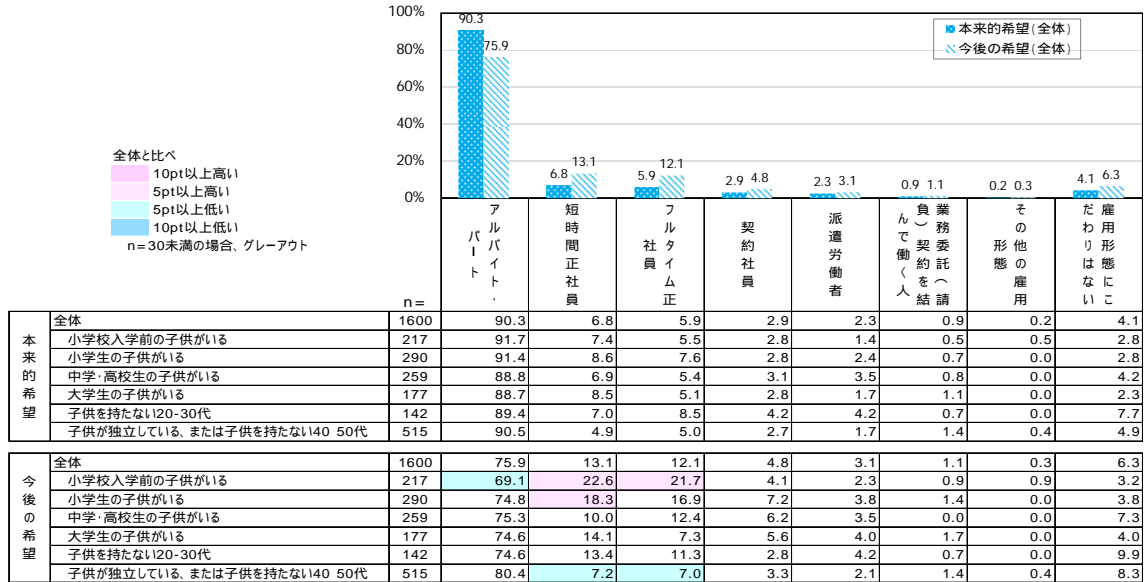


（6）今後希望する雇用形態

希望する雇用形態

【働く上で現在本来希望していた雇用形態（複数回答）／今後希望する雇用形態（単一回答）】

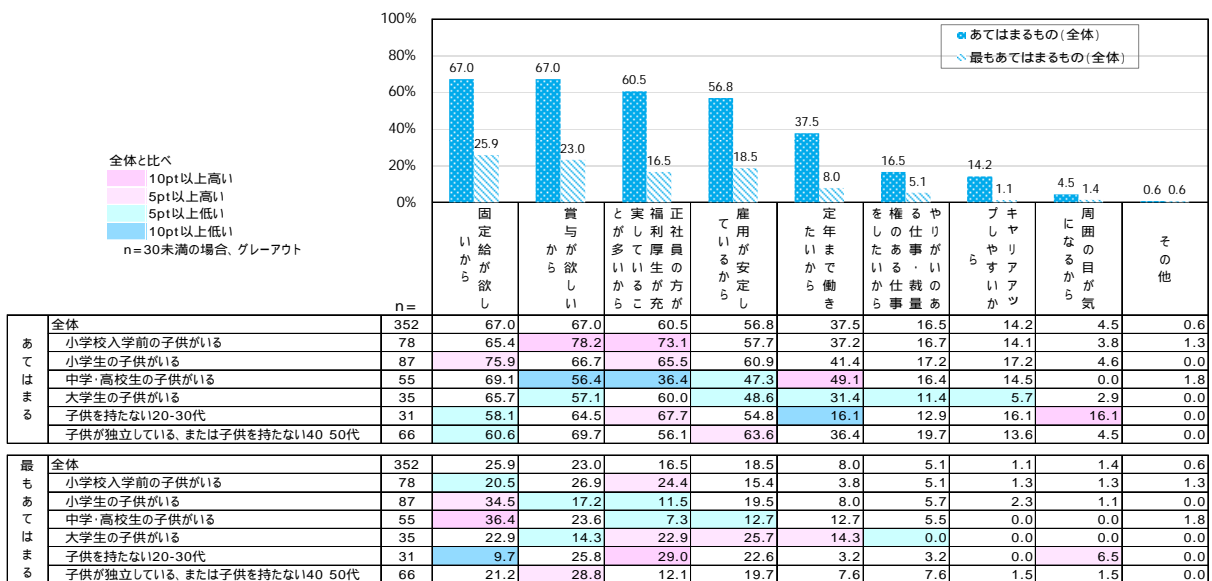
- ・現在本来的に希望する雇用形態として全体では9割が「アルバイト・パート」を挙げている。
 - ・今後の希望については全体で見ると「短時間正社員」と「フルタイム正社員」が1割程度となっており、
- 【 小学校入学前の子供がいる】層と【 小学生の子供がいる】層がやや高い。



正社員希望理由

【今後正社員で働きたい理由としてあてはまるもの（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）】

- ・あてはまるものとして、全体では「固定給が欲しいから」「賞与が欲しいから」が最も高く、「正社員の方が福利厚生が充実していることが多いから」が続く。
- ・最もあてはまるものでは、「固定給が欲しいから」は【 中学・高校生の子供がいる】層で高く、「正社員の方が福利厚生が充実していることが多いから」は【 子供を持たない20-30代】層で高い。



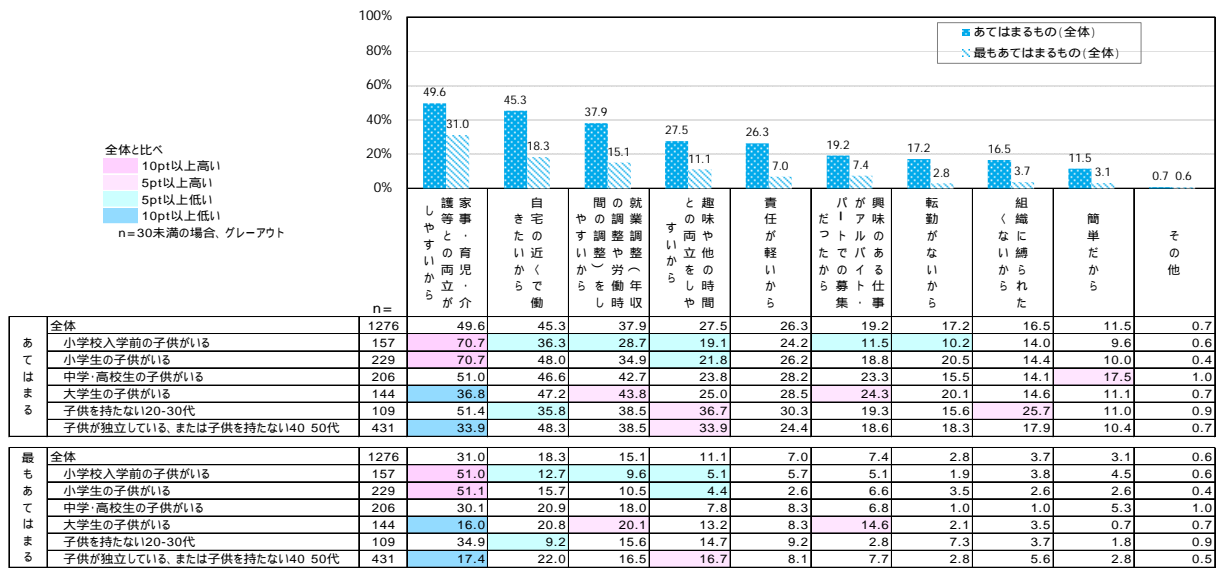
正社員希望理由

【今後非正社員で働きたい理由としてあてはまるもの（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）】

・あてはまるものとして、全体では「家事・育児・介護等との両立がしやすいから」が約5割で最も高く、

【 小学校入学前の子供がいる】層と【 小学生の子供がいる】層では7割となっている。

・最もあてはまるものでも、「家事・育児・介護等との両立がしやすいから」は【 】層と【 】層で高い。

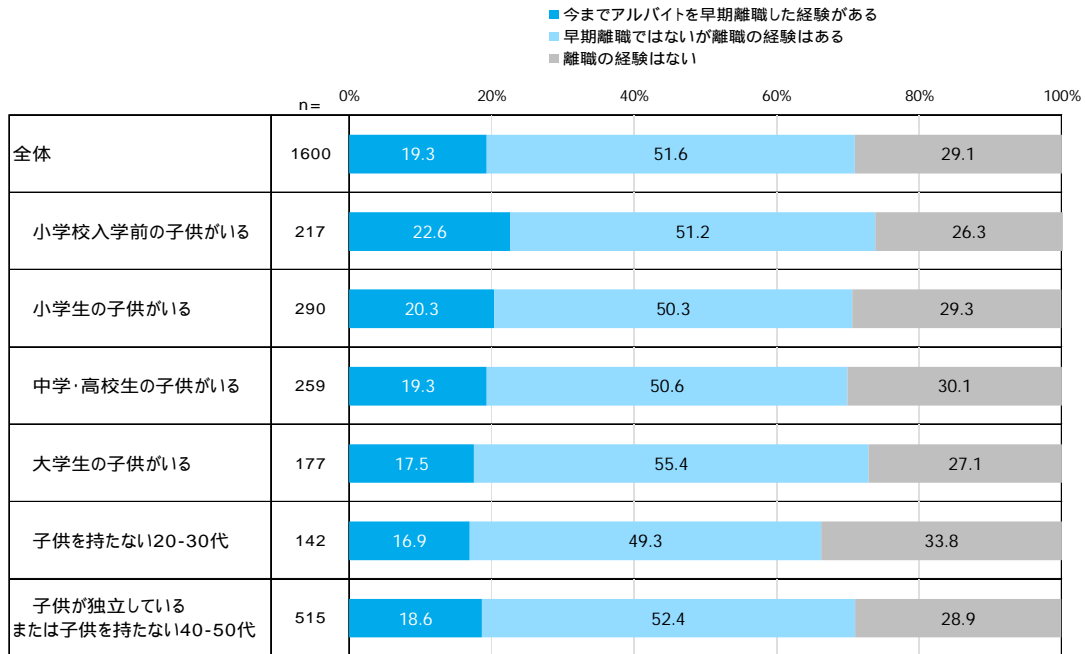


（7）早期離職の実態と意識

離職経験

【アルバイトの離職経験についてあてはまるもの（単一回答）】

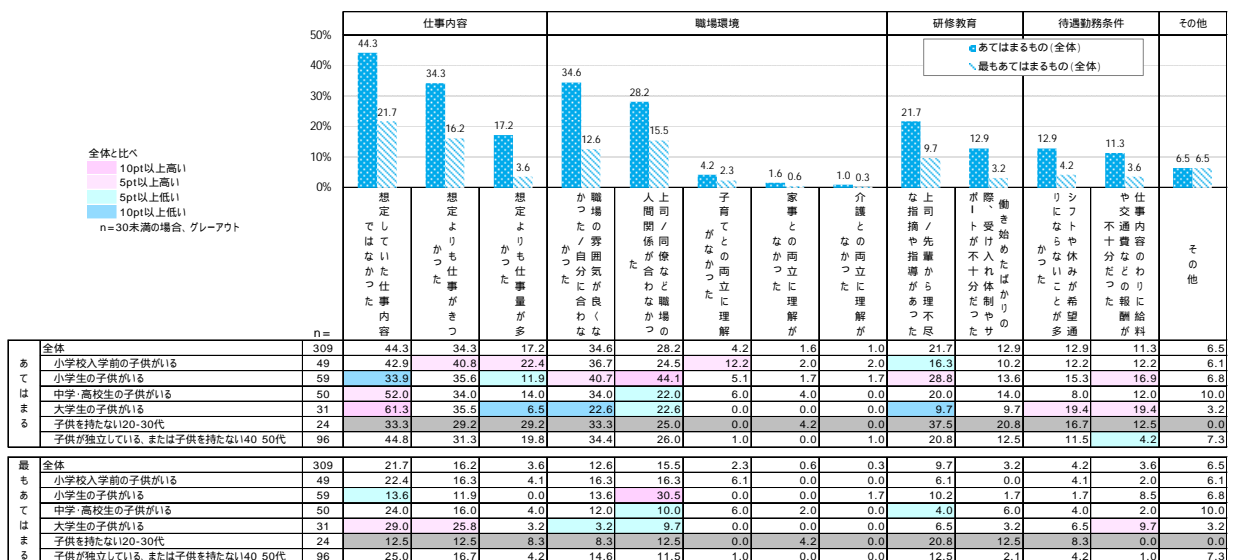
- ・全体で見ると早期退職の経験があるのは2割弱で、離職経験者としてみると約7割を占めている。
- ・【 小学校入学前の子供がいる 】層では2割強が早期離職経験がある。



早期離職理由

【早期離職の要因となったこととして、あてはまるもの（複数回答） / 最もあてはまるもの（単一回答）】

- ・全体で見るとあてはまるものでは「想定していた仕事内容ではなかった」が最も高く、「職場の雰囲気が悪くなかった / 自分に合わなかった」「想定よりも仕事が見つかった」が続く。
- ・最もあてはまるものでは「想定していた仕事内容ではなかった」が最も高く、次いで「想定よりも仕事が見つかった」が高い。

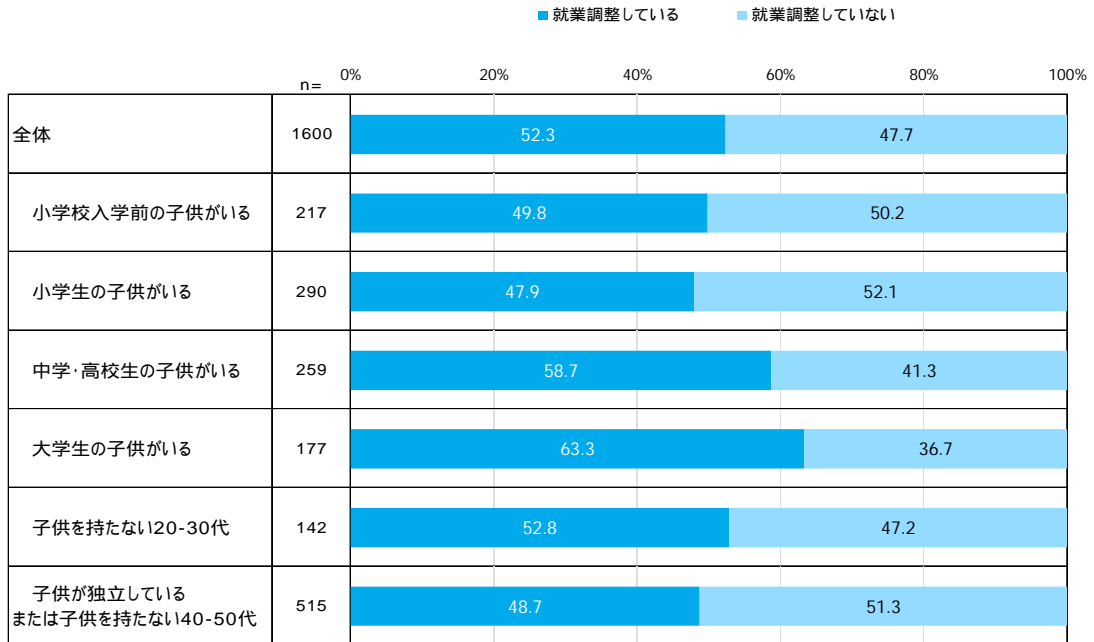


（8）就業調整の実態と意識

就業調整

【就業調整をしているか（単一回答）】

- ・就業調整をしているのは全体の5割強。
- ・最も高い【 大学生の子供がいる】層で6割強、【 中学・高校生の子供がいる】層でも6割弱となっている。



就業調整理由

【就業調整をしている理由についてあてはまるもの（複数回答）】

- ・全体で見ると「自分の所得税の非課税限度額を超えないようにするため」と「社会保険の加入対象額を超えないようにするため」が同程度に高い。
- ・「自分の所得税の非課税限度額を超えないようにするため」は 層で、「配偶者の会社から出る配偶者手当を受けるため」は 層で、「自分の住民税の非課税限度額を超えないようにするため」は 層で全体よりやや高め。

